

4501-13



第拾參回

廣島市勢一斑

廣島市

Kb10
H10



頁	表	題	行数	誤	正
1	目	次	1	説	總 説
1	同		24	農 産	農 業
2	同		13	官 公 衙	官 公 衙 及 主 ナル 諸 會
22	商 業 家		2	人 口	人 員
同	工 業 家		2	人 口	人 員
29	會 社		14	洋水産市場株式會社	東洋水産市場株式會社
42	新 開 社		6	大手町四丁目	大手町七丁目
43	名所舊蹟舊御便殿		1	比治山ノ北部	比治山上ノ北部
45	同 泉 邸		6	自 ラ 自 ラ	自 ラ
46	同 三 本 松		3	參 觀 交 代	參 勤 交 代

凡 例

◎本書ハ我廣島市ニ於ケル各種ノ状態ヲ概括的ニ
 紹介センガ爲メ編纂シタルモノニシテ努メテ最
 新ノモノヲ輯録セルモ統計的數字ハ昭和二年及
 同年度ノ事實ヲ掲載セリ

◎本書中數量ハ千位及百万位ニ(・)ヲ、一位ニ滿
 タザルモノハ(0)ヲ、調査ニ疑義アルモノハ
 (?)ヲ附ス

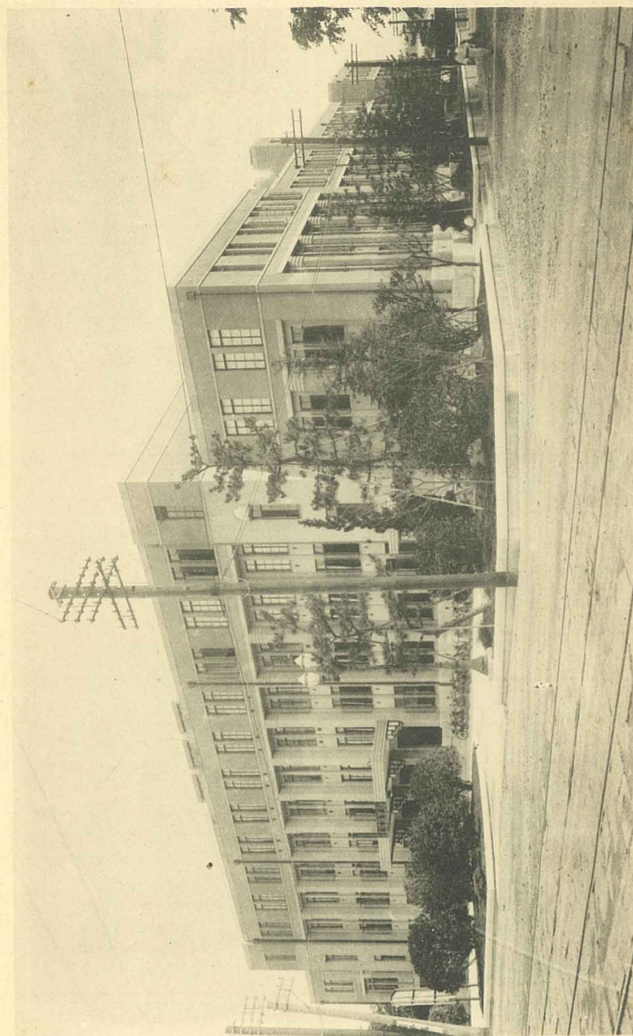
目 次

總 說	1
(イ) 沿 革	1
(ロ) 廣島市町名	2
氣 象	3
(イ) 氣 候	3
土 地	5
(イ) 位 置	5
(ロ) 地 勢	5
(ハ) 面 積	5
戸 數 人 口	6
(イ) 戸 口	6
(ロ) 國 勢 調 査	7
(ハ) 職 業 別	7
(ニ) 年 齡 別	8
社 寺 及 宗 教	8
學 事	9
上 水 道	12
衛 生	14
警察、裁判、警備、刑務	19
救 恤	21
商 工 業	21
會 社	28
銀 行 及 金 融	31
農 産	33

水	産	35
交	通	35
	(イ)	道 路35
	(ロ)	橋 梁35
	(ハ)	鐵 道36
	(ニ)	軌 道36
	(ホ)	船 舶 (宇品入港)36
	(ヘ)	棧 橋 (通行人員)36
市	會議員、職員、財政	38
	(イ)	議 員、委 員38
	(ロ)	市 吏 員38
	(ハ)	財 政39
官	公 衙	40
保	險	41
新	聞 社	42
名	所 舊 蹟	43
	(イ)	廣 島 城 趾43
	(ロ)	大 本 營 跡43
	(ハ)	舊 御 便 殿43
	(ニ)	饒 津 神 社44
	(ホ)	東 照 宮44
	(ヘ)	國 泰 寺44
	(ト)	明 星 院44
	(チ)	誓 願 寺45
	(リ)	本派本願寺廣島別院45
	(ヌ)	國 前 寺45

(ル)	泉 邸	45
(ヲ)	比 治 山 公 園	46
(ワ)	江 波 山 公 園	46
(カ)	大 内 越 道	46
(ヨ)	三 本 松	46
(タ)	太宰原天満宮	46
(レ)	新 天 地	46
(ソ)	宇 品 山	47
(ツ)	廣 島 縣 廳	47
(ネ)	廣 島 市 廳	47
(ナ)	廣島縣立商品陳列所	47
(ラ)	廣島商工會議所	47
(ム)	廣 島 市 屠 場	47
(ウ)	廣島市常設家畜市場	48
(キ)	上水道水源池	48
(ノ)	廣島高等師範學校	48
(オ)	廣島高等工業學校	48
(ク)	廣 島 高 等 學 校	48
(ヤ)	宇 品 港	48
(マ)	千田男爵銅像	48
(ケ)	廣 島 驛	48
(フ)	紙屋町電車交叉點附近	48
(コ)	第一軍戰死者記念碑	49
(エ)	本 川 橋	49
(テ)	元 安 橋	49
名	物 及 物 産	49

(イ)	牡	蠣	49		
(ロ)	海	苔	49		
(ハ)	柿		49		
(ニ)	鮎		50		
(ホ)	廣	島	茶	50	
(ヘ)	白	魚		50	
(ト)	罐	詰		50	
(チ)	足	袋		50	
(リ)	染	手	拭	50	
(ヌ)	晒木綿及染地類			50	
(ル)	簞	笥		51	
(ヲ)	傘			51	
(ワ)	縫	針		51	
(カ)	建	具		52	
(ヨ)	紡	績	綿	絲	52
(タ)	人	造	絹	絲	52
(レ)	護	謨	製	品	52
(ソ)	製	綿		52	
(ツ)	洋	紙		53	
(ネ)	菓	子		53	
(ナ)	燐	寸		53	
(ラ)	清	酒		54	
(ム)	洋	服		55	
里	程	表	(附急行料)	56	

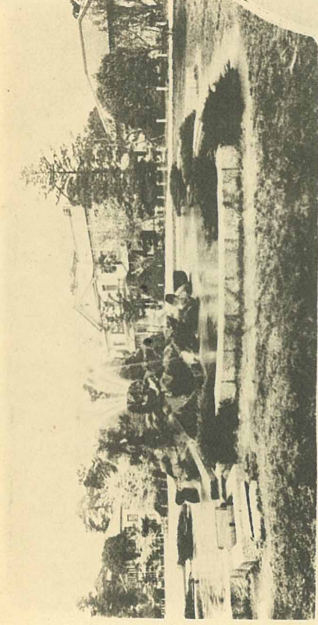


廣 島 市 廳

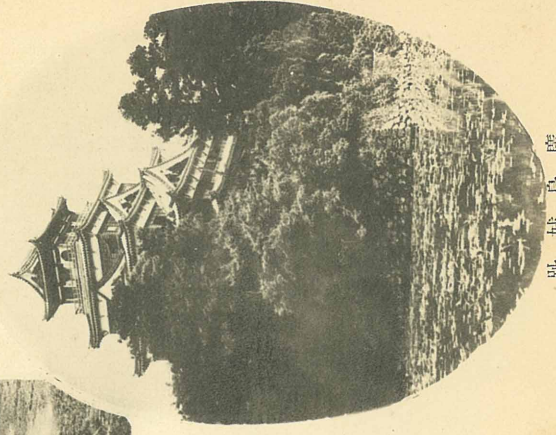
廣島市廳

昭和三年ノ建築ニ係リ同四月中島新町ヨリ移轉ス

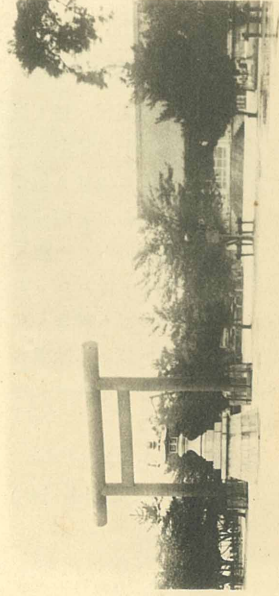
廣島驛ヨリ約二十九町（三千百六十四米）



大管本跡



廣島城跡



廣島御便殿

廣島城跡

天正年間毛利輝元ノ築城ニ係リ明治四年鎮西鎮臺第一分營ヲ
 置キ現ニ第五師團司令部タリ天主閣ハ五層ニシテ東西十二間
 南北九間高サ十七間アリテ高ク築中ニ藝エ壯觀ヲ呈ス

廣島驛ヨリ二十三町 (二千五百〇九米)

舊御便殿

比治山公園内眺望絶佳ノ地ニ位
 シ結構壯麗ナリ明治二十七八年
 戦役ノ際廣島ニ閉カレタル臨時
 帝國議會假議事堂内御便殿ヲ下
 賜セラレ此ニ宮殿型ナル上覆ノ
 建物ヲ設ケテ其中ニ移シタルモ
 ノナリ玉座御物等以テ當時ノ狀
 ヲ徳アベシ規定ヲ設ケテ拜觀ヲ
 許ス側ニ御大禮記念館アリ大正
 七年ノ建設ニ係レリ

廣島驛ヨリ十七町

(千八百五十五米)

大本營跡

元廣島城本丸址ニ建テラレタル
 第五師團司令部ヲ明治二十七八
 年戦役ノ際大本營跡ニ行在所ニ
 充テサセラレシ遺跡ナリ規定ヲ
 設ケテ拜觀ヲ許サル

廣島驛ヨリ二十三町

(二千五百〇九米)



校學範師等高島廣



校學業工等高島廣



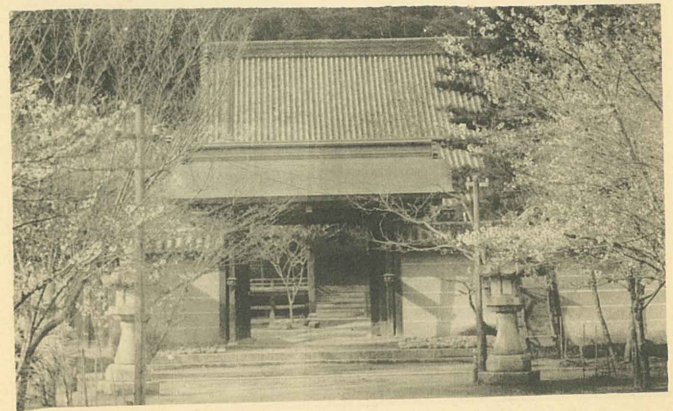
校學等高島廣



宮 照 東



寺 泰 國



院 星 明

廣島高等師範學校

千田町ニ在リ明治三十五年ノ開校ニ
シテ規模頗ル宏大ナリ校内ニ附屬中
學校同小學校及圖書館等在リ

廣島驛ヨリ一里二町

(四千四百四十五米)

廣島高等工業學校

千田町ニアリ大正九年一月ノ開校ニ
シテ規模頗ル壯大ナリ

廣島驛ヨリ約一里八町

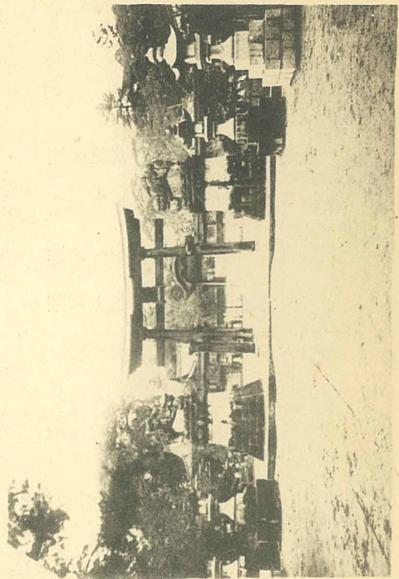
(四千八百米)

廣島高等學校

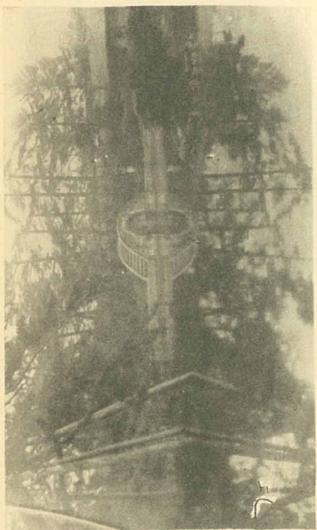
皆實町ニ在リ大正十三年十二月十日
ノ創立ニシテ規模頗ル壯大ナリ

廣島驛ヨリ約二十町

(二千八百八十二米)



泉邸



東照宮

徳津神社ノ東方五丁餘尾長山ノ半腹
ニ在リ徳川家康ノ靈ヲ祀ル宮殿ハ正
保三年藩主淺野光晟之ヲ創建セリ

廣島驛ヨリ約十町

(千〇九十米)

國泰寺 (曹洞宗)

小町白神社ノ東隣ニアリ僧惠瓊ノ開
基ニ係リ曹洞宗ノ古刹ニシテ境内廣
ク寺後ニ淺野家累代ノ墳墓アリ

廣島驛ヨリ約二十五町

(二千七百二十七米)

明星院

(眞言宗御室派)
大須賀町二葉山南麓ニアリ天正十七
年毛利氏ノ建立後淺野氏ノ祈願所ニ
シテ境内櫻樹多シ

廣島驛ヨリ約十二町

(千三百九米)

饒津神社

二葉山ノ麓ニ在リ舊廣島藩主淺野氏ノ祖贈從三位彈正少弼淺野長政夫妻ヲ祭ル天保六年ノ造營ニシテ結構壯麗ナリ境内ハ大樹鬱若トシテ大田川ノ清流ニ臨ミ風景絶佳ナリ

廣島驛ヨリ十二町

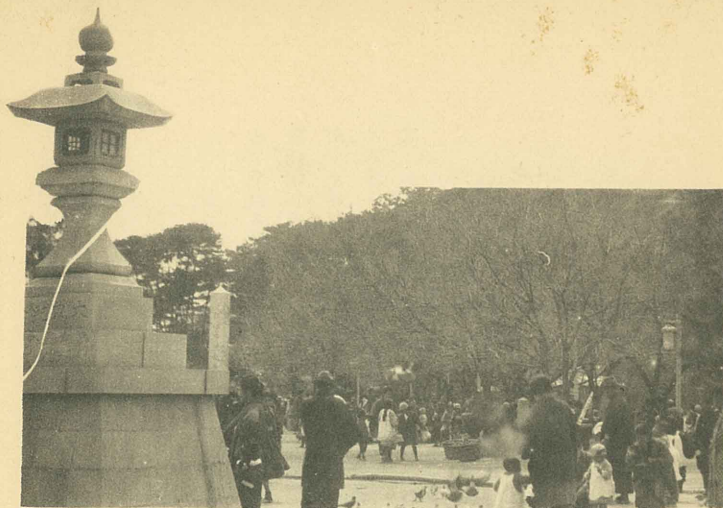
(千三百〇九米)

泉 邸

上流川町ニ在リ舊藩主淺野家ノ別邸ニシテ庭園ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號ス廣サ四町歩ニ餘リ景致多趣ノ名園タリ又明治二十七年車駕行幸アリ構内ニ觀古箱アリ同家ノ什器ヲ陳列シテ一般ノ觀覽ニ供ス

廣島驛ヨリ九町

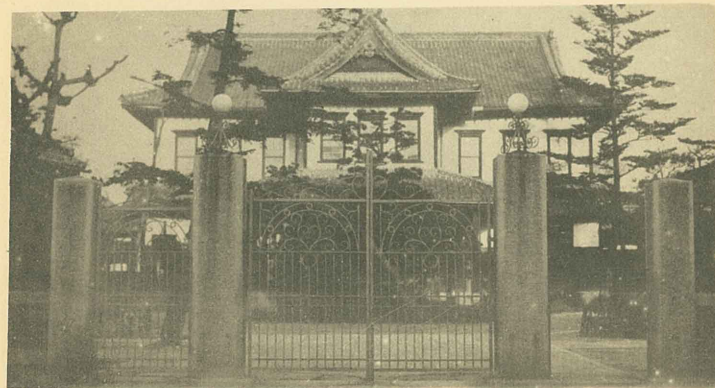
(九百八十二米)



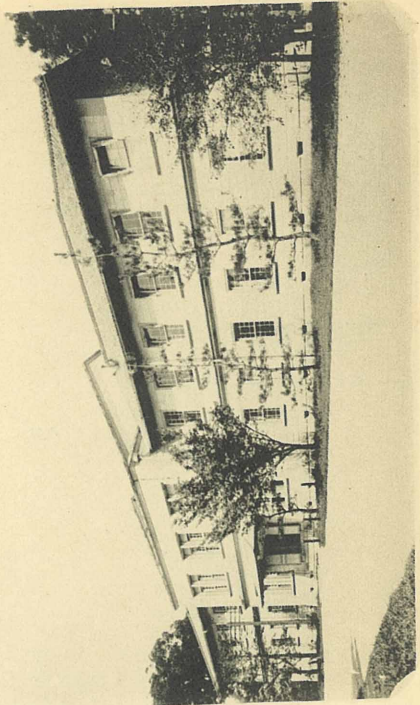
園公山治比



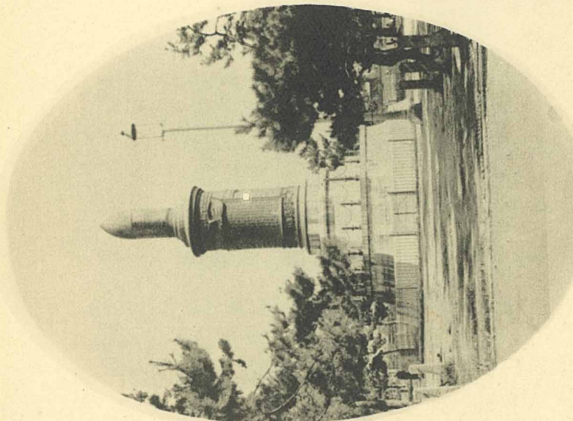
園公山波江



所判裁方地島廣



第一戰死者紀念碑



比治山公園

市ノ東邊ニ位シ之ニ登レバ四萬ノ粉
壁指顧ノ中ニ在リテ宇品灣頭ノ出入
船釣魚探貝ノ狀歴然トシテ眼眸ニ入
リ風雅ノ士ヲシテ吟懷ヲ恣ニスルヲ
得セシム

廣島驛ヨリ十七町

(千八百五十五米)

江波山公園

市ノ南端ニ在リ古松綠滴ラントス其
頂ニ立テバ藝豫ノ島嶼ヲ一眸中ニ收
メ眺望頗ル佳ナリ嚴島モ亦遙カニ相
呼應ス

廣島驛ヨリ約一里半

(五千八百九十一米)

廣島地方裁判所

三川町ニ在リ廣島驛ヨリ約二十一町
(二千二百九十一米)

第五師團司令部

其町ニ在リ廣島驛ヨリ約十九町

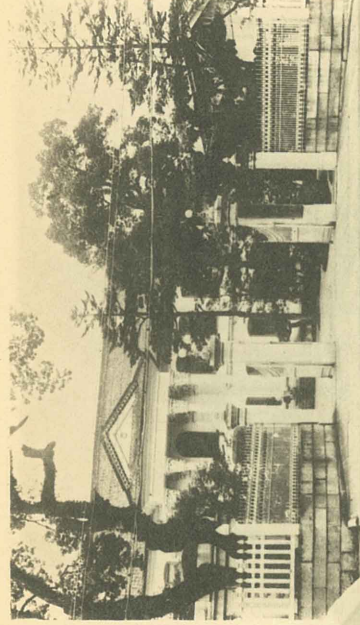
(二千〇七十三米)

第二軍戰死者記念碑

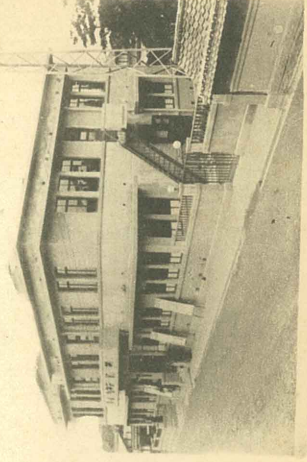
西練兵場ニ在リ明治二十七八年戰役戰死者七百二十六名

ニ對スル記念碑ニシテ明治三十三年ノ建設ニ係レリ

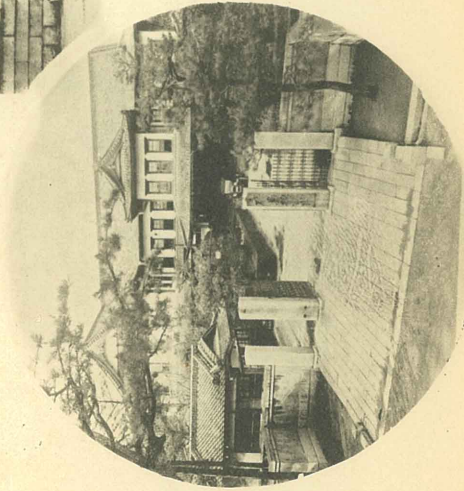
廣島驛ヨリ約二十一町 (二千二百九十一米)



廣島縣廳



廣島放送局



廣島控訴院

放送局

土流川町ニ在リ昭和二年五月ノ創
設ニ係レリ廣島驛ヨリ約十一町

(一千二百米)

廣島縣廳

明治十一年ノ建築ニ係リ廣島縣會
議事堂ト相並ビテ水主町ニアリ

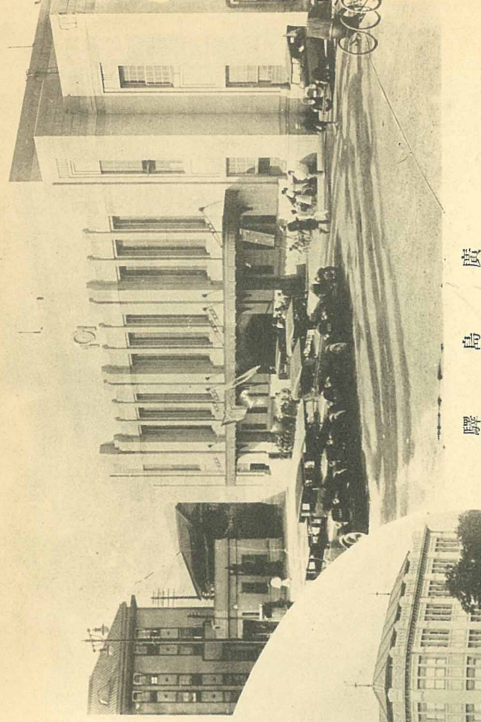
廣島驛ヨリ三十町

(三千二百七十三米)

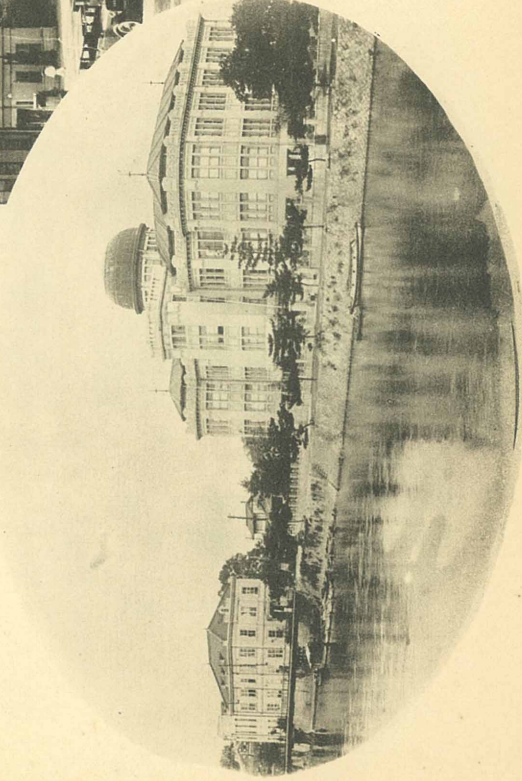
廣島控訴院

小町ニ在リ廣島驛ヨリ約二十五町

(二千七百三十七米)



廣島驛



廣島縣立商品陳列會及工商會議所

廣 島 驛

大須賀町ニアリ大正九年一月起工シ
同十二年八月竣成ス工費約五十二萬
圓ヲ要シ外觀ノ美、内部ノ整備セル
コト中國橋ニ見ル儼觀タリ

廣島縣立商品陳列所

猿樂町ニ在リ大正四年五月ノ創設ニ
シテ結構宏壯ナリ

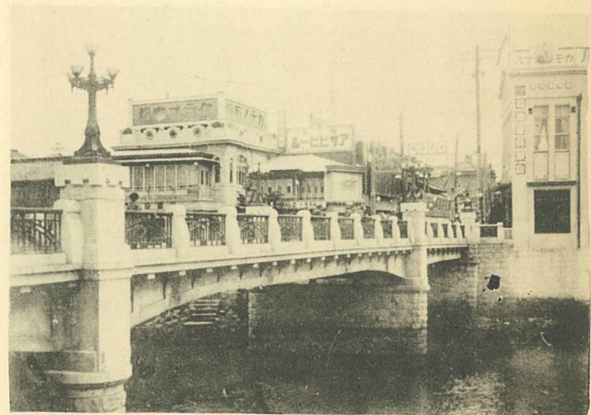
廣島驛ヨリ二十五町
(二千七百二十七米)

商工會議所

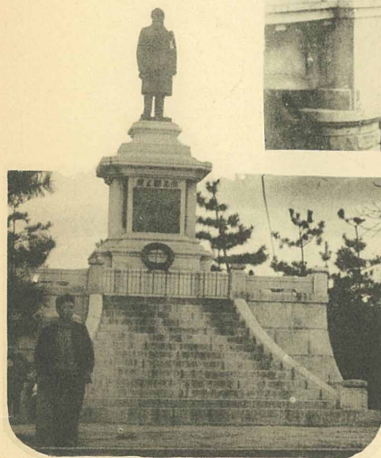
猿樂町ニ在リ明治二十四年三月ノ設
立ニシテ同四十年一月ノ新築ニ係レ
リ 廣島驛ヨリ二十五町
(二千七百二十七米)



橋 川 本



橋 安 元

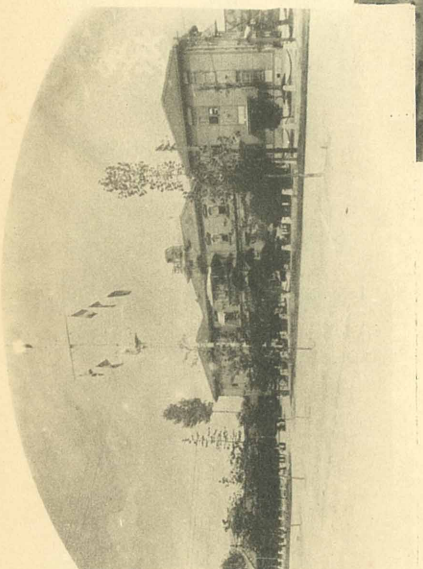


像銅爵男田千

宇品港及市營棧橋



陸軍運輸部



千田男爵銅像

宇品町ニ在リ時ノ縣令千田貞曉築港ヲ計畫シ工事ニ六ヶ年ヲ要セリ之ガ竣成ヲ記念スル爲メ大正四年十一月三日建設ス

廣島驛ヨリ約二十一町
(二千二百九十一米)

本川橋

中島本町ヨリ塚本町ニ架設セル鐵橋ニシテ天正年間加藤(名ハ兼鐵)猫屋九郎右衛門之ヲ架設シ子女十二名ト共ニ渡初ヲナシタルニ依リ猫屋橋トモ呼ブ

廣島驛ヨリ約二十八町
(三千〇五十五米)

元安橋

市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル橋梁ニシテ工費七萬二千圓ヲ要シ壯觀ニシテ堅牢ヲ主トセリ

廣島驛ヨリ約二十五町
(二千七百二十七米)

宇品港及市營棧橋

市ノ南端ニ位シ良港トシテ其名ヲ知
ラシ時ノ縣令千田貞曉氏ノ計畫ニ依
リ明治十七年築港ノ工ヲ起シ同二十
二年完成ス明治十八年聖上巡幸シテ
工事ヲ稱ハセ給ヒシニ依リ本街道ヲ
仰幸通ト稱ス

廣島驛ヨリ一里十七町

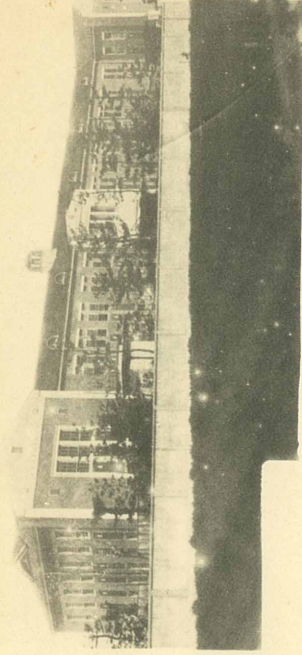
(五千七百八十二米)

陸軍運輸部

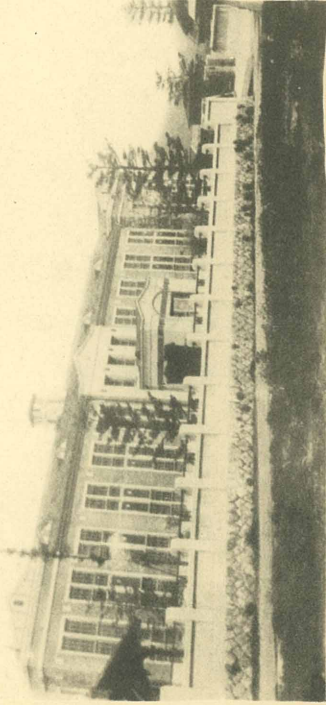
宇品町ニ在リ廣島驛ヨリ約一里二十

町

(六千百〇九米)



廣島市立商業學校



廣島市立高等女學校

廣島市立高等女學校

船入町ニ在リ大正十年四月ノ創立ニ

シテ廣島驛ヨリ約四十八町

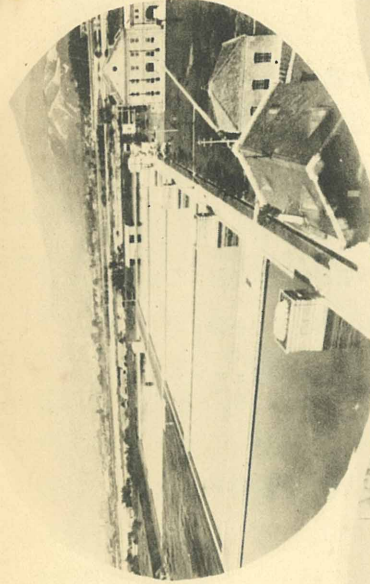
(五千二百三十六米)

廣島市立商業學校

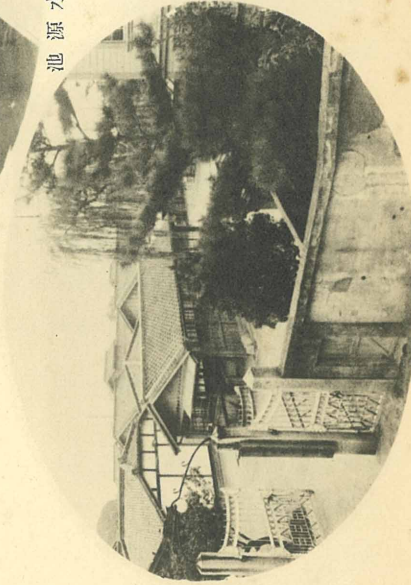
觀音町ニ在リ大正十年四月ノ創立ニ

シテ廣島驛ヨリ約五十町

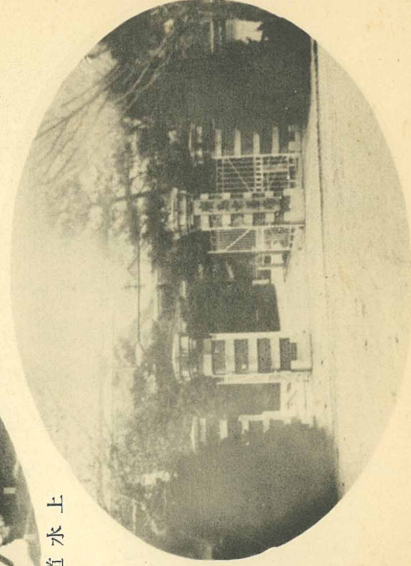
(五千四百五十四米)



池源水道水上



廣島市常設畜市場



廣島市屠場

廣島市屠場

福島町南端ニ在リ本市ノ經營ニ係リ
煉瓦・石造ニシテ諸機械器具ハ總テ
獨邊製ヲ使用セリ外觀ノ壯麗内部ノ
整備俱ニ全國第一ノ稱アリ

廣島驛ヨリ一里
(三十九百二十七米)

上水道水源池

安藝郡牛田村ニアリ明治三十一年八
月通水式ヲ舉グ工費六十六萬圓ヲ要
シ爾來機關ヲ増設シ給水成績ノ良好
ナル全國水道中竊ニ見ル所ナリ

廣島驛ヨリ三十一町
(三十三百八十二米)

廣島市常設家畜市場

福島町ニアリ市營ニシテ大正三年一
月開場セリ其ノ建築物ノ宏大ナル居
場ニ亞ク壯觀ヲ呈セリ

廣島驛ヨリ一里五町
(四千四百七十三米)

總 說

沿革——本市ハ往昔五箇庄ト稱セシガ天正十七年毛利輝元此地ニ築城シテ廣島ト改稱セリト云フ而シテ毛利氏ハ當時陰陽十州ヲ領シ廣島ハ其治所ナリシカバ將士ノ邸宅及商工ノ住宅等頓ニ増加セリ毛利氏ハ百六十萬石ヲ領セシガ慶長五年削封セラレ長門周防ニ移ル福島正則其後ヲ襲ヒ尾張清洲ヨリ入城シ五十萬石ヲ領セリ二十年ノ後又削封セラレ元和五年信濃ニ移サル同年八月淺野長晟之ニ代ル其領封四十二萬六千石ニシテ安藝一圓及備後八郡ヲ領シ紀伊ヨリ入城シ爾來淺野氏十二世ノ藩治實ニ二百五十餘年ヲ經テ明治二年六月十七日淺野氏版籍ヲ奉還ス明治四年廢藩置縣ト共ニ沼田郡江波村ヲ我管轄ニ移シテ總テヲ四區ニ分チ後又一區トナシ之ヲ十二小區ニ分チ其間多少ノ變革アルモ區長、副區長、戶長、副戶長等ヲ置キテ本市ノ行政ヲ執レリ明治十一年十一月郡區編制ニ際シ庚午新開ヲ佐伯郡ノ管轄ニ移シテ廣島區ト爲シ區役所ヲ大手筋一丁目ニ設ケ後中新町ニ移リ區長戶長以下吏員ヲ置キ縣廳ニ直屬シテ市政ヲ執レリ明治二十二年築港竣成ニ依リテ宇品町ヲ創設同年四月市制實施ト共ニ市役所ト改メ市會議員三十六名市長助役名譽職市參事會員六名ノ諸機關ヲ具ヘ現時ハ市會議員四十名行政區域ハ明治三十七年十月十六日安藝郡仁保島村ノ一部ヲ割キテ本市ニ編入シ元宇品町ト稱シ其他ハ淺野氏版籍奉還當時ト異ナルコトナシ而シテ明治四十年三月二十三日大須賀村ヲ大須賀町ニ川添村ヲ福島町ニ改メ大正五年七月一日國泰寺村ヲ國泰寺町及千田町ノ二ヶ町トシ其他十二ヶ村ヲ總テ町名ニ改メタリ
明治二十七八年戰役起ルヤ大轟ヲ本市ニ進メサセ給ヒ第五師團司令部内ニ大本營ヲ置キ市内ヲ臨戰地境トセラレ諸多ノ軍隊此ノ地ニ雲集セリ降テ同三十三年同三十七八年及大正三年乃至同九年戰役ニ於テモ毎ニ軍隊出入ノ要地トナレリ

廣島市役所

寄贈

廣島市町名

尾長町	愛宕町	大須賀町	猿猴橋町
荒神町	蟹屋町	大須町	東新開町
段原町	皆實町	宇品町	元宇品町
的場町	金屋町	比治山町	土手町
松川町	稻荷町	京橋町	臺屋町
白島中町	白島西中町	白島東中町	白島北町
白島九軒町	東白島町	西白島町	基町
橋本町	石見屋町	上柳町	山口町
銀山町	東引御堂町	斜屋町	幟町
上流川町	鐵砲町	八丁堀	胡町
堀川町	三川町	下流川町	藥研堀
下柳町	平塚町	田中町	竹屋町
南竹屋町	立町	東魚屋町	研屋町
平田屋町	播磨屋町	革屋町	鐵砲屋町
新川場町	中町	下中町	西魚屋町
袋町	小町	尾道町	鹽屋町
紙屋町	猿樂町	大手町一丁目	同二丁目
同三丁目	同四丁目	同五丁目	同六丁目
同七丁目	同八丁目	同九丁目	國泰寺町
千田町	細工町	横町	鳥屋町
中島本町	天神町	材木町	元柳町
木挽町	中島新町	水主町	吉島町
寺町	西引御堂町	空鞘町	鷹匠町
十日市町	西九軒町	左官町	鍛冶屋町
油屋町	塚本町	猫屋町	西大工町
榎町	堺町一丁目	同二丁目	同三丁目

同四丁目	西地方町	西新町	小網町
河原町	船入町	江波町	廣瀬町
觀音町	天満町	福島町	

(計百十五箇町)

氣 象

氣候——本市ノ氣温ハ概シテ中和風弱キ土地ニシテ一年ノ平均温度八十四度六分(華氏五十八度三分)ニシテ既往ニ於ケル最高温度ノ極ハ大正十三年八月五日ノ三十八度一分(華氏ノ百度六分)最低温度ノ極ハ大正六年十二月二十八日ノ零下八度六分(華氏ノ十六度五分)ナリ今昭和二年中ノ氣温ヲ見ルニ昨年ハ平年ト同温ニシテ平均八十四度七分(華氏五十八度三分)ニテ最高温度ハ七月二十三日ノ三十五度六分(華氏九十六度一分)ニシテ昨年ヨリ六分高ク最低温度ハ二月八日ノ零下五度九分(華氏二十一度四分)ニシテ昨年ヨリ三分高シ本市ノ降雨ハ概シテ初夏ヨリ初秋ノ候ニ多ク平年ノ降水量八千五百二十耗降水日數ハ百三十五日ナルガ昭和二年ニ於ケル降水量ハ千五百十六耗ニシテ昨年ヨリハ二百七十九耗平年ヨリハ六耗ノ少量ヲ示セリ

降水日數ハ百三十八日ニシテ前年ノ百三十三日ニ比シ五日多ク平年ニ於ケル降水日數百三十五日ニ比スレバ三日多シ而シテ昭和二年ニ於ケル降水量ノ多キハ七月降水日數ノ多キハ九月降水量ハ三百五十八耗九降水日數ハ十八日ニシテ最モ少キ降水量ハ十二月ノ三十三耗降水日數ハ十月中六日ナリ降雨日數ハ昭和二年中三十六日(前年ニ比シ四日平年ニ比シ十二日多シ)ニシテ積雪ノ最深ハ三月十二日ノ七糶七(二寸五分)ニシテ昭和二年ニ初メテ霜ヲ見タルハ十一月二十三日(昨年ヨリ二日遅ク平年ヨリ七日遅シ)ニシテ又初雪ハ十二月十九日(昨年ヨリ十一日平年ヨリ十日遅シ)ナリ終雪ハ三月十三日(昨年ヨリ十四日平年ヨリ四日早シ)ニテ終雪ハ四月七日ニシテ昨年

ヨリ四日早シ又昭和二年ノ濕度ハ平均七十四% (昨年ヨリ二%多ク平年ニ等シ) 最モ乾燥シタルハ四月ノ二十六%ニシテ最モ濕氣多キハ十二月ノ百%ナリ風向ハ夏季ニ南西多ク其他ハ殆ンド北々東一年中夜間ハ北又ハ北々東ノ風吹キ冬期ニテモ日中平穩ナルトキハ南西ノ風多ク吹クコトアリ昭和二年中最モ強カリシ風ハ八米七ニシテ既往ニ於ケル最モ強カリシ風ハ明治三十三年八月十九日ノ三十二米三ナリ昭和二年中暴風日數ハ一日モナク平年ハ四日ナリ昭和二年中ニ於ケル快晴 (滿天ヲ十分シ全ク雲ナキカ若シクハ平均雲量十分ノ二ニ充タザル日) 日數五十六日ニシテ前年ニ比シ十三日平年ニ比シ十八日多ク地震ハ昭和二年中十五回ニシテ昨年ニ比スレバ八回平年ニ比スレバ五回ノ増加ヲ示シ微震十一回ニシテ弱震四回ナリ

目次	氣 温			濕 度	風 速	地 震	天 氣 日 數			降 水 量
	平均	最高	最低				平均	平均	回 數	
一 月	3.6	15.1	-5.5	74	1.5	—	4	11	9	36.9
二 月	3.3	13.4	-5.9	71	1.5	—	—	7	11	49.0
三 月	6.9	21.2	-3.1	73	1.6	8	2	14	15	231.8
四 月	12.8	25.7	0.6	71	1.8	1	9	8	8	167.7
五 月	16.6	29.6	5.5	70	1.7	3	5	11	11	62.1
六 月	21.2	31.2	11.9	74	1.4	1	6	12	10	153.4
七 月	26.8	35.6	18.8	78	1.4	—	5	16	14	358.1
八 月	26.3	33.7	19.4	80	1.3	—	1	19	17	155.5
九 月	22.0	32.9	14.0	78	1.4	1	2	22	18	151.2
十 月	17.1	27.3	4.6	72	1.7	—	11	9	6	78.6
十一月	12.0	23.5	1.4	73	1.7	—	8	4	8	38.2
十二月	6.8	18.7	-2.5	75	1.6	1	3	13	11	33.2
計及平均	14.6	25.7	4.9	74	1.6	15	56	146	138	1,515.7
大正五年	14.4	35.0	-5.6	74	1.5	7	43	121	133	1,733.0
大正六年	14.7	36.1	-4.3	72	1.4	11	29	132	119	1,494.8

土 地

位 置——廣島市ハ東經三十二度二十五分十六秒乃至二十九分五十六秒北緯三十四度二十分乃至二十四分二十七秒ノ間ニアリテ安藝國西南ニ位シ東及北半面ハ安藝郡ニ西ハ佐伯郡ニ北半面ハ安佐郡ニ接シ南一帯ハ廣島灣ニ瀕ス

地 勢——東北西ノ三方ハ山脈ニ圍繞セラレ南一面ハ海ニ瀕ス市内ハ北ヨリ南ニ向テ僅ニ傾斜シ河川亦南流ス而シテ太田川ハ市ノ北端白島北町一本木鼻ニ來リ兩分シ神田川ト共ニ市北方ノ境界ヲ劃ス一ハ臺屋町ノ北角ニ到リテ更ニ二分セラレ其ノ一派ハ中島本町ノ北角ニテ元安、本川ノ二川トナリ他ノ一派ハ西南ニ流レテ天滿、福島山手ノ三川トナリ諸川皆廣島灣ニ注グ

街衢ハ概ネ平坦ナルモ東方ニ比治山ノ弧丘アリ西南ニ江波山、丸子山、皿山ノ小陵アリ海上宇品灣頭ニ宇品島アリ其平地ハ太田川ニ依テ數多ノ三角洲ヲ成シ地質ハ一般ニ花崗石ニ屬ス

面 積

面 積	平 方 米		廣 袤	延 長		河 川	橋 梁 數
	延 長	面積		延 長	面積		
周 圍	27,299.667	(8,258.112)	極東 大須町 榎川 極西 福島町 附寄洲	6.472	(1,23.20)	極南 元宇品町 宇品島 極北 白島北町 一本木鼻	8.000
	26,909	(6,30.40)		2.012	(2,01.20)		32.387
道 路	國 道	(12,284)	40,608	(1,19.18)	6,032	延 長	23
	縣 道	(35,785)	118,298	(3,21.34)	14,134		
	市 道	(267,914)	885,670	(85,04.18)	334,287		

有租地	區	別	段	別	地	別
	市街宅地	(588.9)	町反	5.840.283	平方米	5.444.027
田畑池	(241.5)		2.395.042		107.480	
	(460.1)		4.562.977		181.371	
	(0.0)		198		1	
山原雜種地	(24.4)		241.983		995	
	(0.9)		8.925		10	
	(2.1)		20.826		83	

免租及無租地	區	別	反	別	區	別	反	別
	學校敷地	(63.4.0.00)	町反	628.761	平方米	警察署敷地	(6.3.00)	6.248
鄉村社地	(1.0.00)		992		縣會議事堂敷地	(6.9.00)	6.843	
墳墓地	(11.0.6.00)		109.686		病院敷地	(2.8.8.00)	28.562	
用水惡水路	(1.9.9.00)		19.735		測候所敷地	(1.3.4.00)	13.289	
溜池	(1.5.00)		1.488		新開地	(189.5.0.00)	1.879.500	
井溝	(2.6.00)		2.578		荒地	(76.8.4.00)	762.049	
道	(4.2.8.00)		42.446		工業試驗場敷地	(2.5.00)	2.479	
鐵道敷地	(3.7.8.00)		37.493		下水道敷地	(5.6.5.00)	56.033	
縣廳敷地	(1.3.4.00)		13.289		軌道用地	(3.9.3.00)	38.975	
保安林	(1.5.00)		1.487		其他	(4.7.3.00)	46.908	
市役所敷地	(3.2.00)		3.173					

官有地	國	道	縣	市	河	堤
	(4.0.9.14)	町反	48.640	平方米	溝渠	(32.3.0.13)
(14.4.0.02)		142.817		社寺地	(14.3.0.12)	141.386
(88.1.7.05)		874.416		官用	(30.5.4.25)	302.959
(248.5.6.19)		2.465.120		其他	(119.6.2.19)	1.186.378
(23.8.8.23)		236.902				

戶數人口

戶口——本市ニ於ケル昭和二年十二月三十一日現在戶數五二、七四三ニシテ人口ハ男一〇七、〇七五女一〇四、六〇三計二一一、六七八人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ戶數一、一一六戶人口五、八九三人増加セリ其ノ増加率ハ戶數二、一六%人口二、八六%ヲ示セリ

本籍者ノ結婚數ハ最近十ヶ年平均一、三四%離婚數ハ〇、二〇%ヲ示シ出生産ハ二、一三%死亡數一、四〇%ヲ示セリ

年次	現在戶數	男	女	計	一戸ニ付平均人口
大正十二年	44,399	87,274	84,524	171,798	3.9
大正十三年	45,394	89,332	87,887	177,219	3.9
大正十四年	45,601	93,829	93,099	186,928	4.0
昭和元年	51,627	103,894	101,891	205,785	4.0
昭和二年	52,743	107,075	104,603	211,678	4.0

昭和二年	本籍者 出寄留者 入寄留者 出生 死亡 結婚 離婚	男		女		計	
		79,645	20,344	47,775	78,771	16,431	42,263
		2,325	1,521	2,183	1,452	4,508	2,973
		—	—	—	—	2,028	307

國勢調査 戶口表

調査ノ年	世帯數	人		
		男	女	計
大正九年	34,522	75,522	77,123	152,645
大正十四年	42,802	95,811	93,734	189,545
差引増減	増 8,280	増 20,289	増 16,611	増 36,900

備考 本表ハ軍隊、刑務所ヲ除キタルモノトス
本表ニ依レバ平均一ヶ年ノ増加率ハ世帯數一千六百五十六人口七千三百八十ノ増加ヲ示セリ

國勢調査 職業別表 (大正九年調査)

職業別	男	女	計	百分比例
農業	2,847	1,821	4,668	2.9
水産業	469	384	853	0.5
鑛業	32	—	32	0.0
工業	16,007	6,227	22,234	14.1
商業	12,596	4,086	16,682	10.6
交通業	5,149	416	5,565	3.5
公務及自由業	7,615	1,970	9,585	6.1
其他ノ有業者	1,440	2,301	3,741	2.3
家事使用人	97	2,064	2,161	1.3
無職者	32,080	59,941	92,021	58.7
計	77,543	79,210	156,753	100.0

備考 本表ハ一人ニテ本業ト副業トヲ併有スルモノアルガ故ニ人口總數ト符合セズ

國勢調査 年 齡 別 表 (大正十四年調査)

年 齡 別	十 歳 マ デ	二十歳マデ	三十歳マデ	四十歳マデ	五十歳マデ	六十歳マデ
男	22,121	24,757	16,837	11,713	9,674	6,521
女	21,497	22,877	16,204	10,950	9,688	6,536
計	43,618	47,634	33,041	22,663	19,262	13,057

年 齡 別	七十歳マデ	八十歳マデ	九十歳マデ	百 歳 マ デ	百 歳 以 上	計
男	3,093	1,071	117	6	—	95,810
女	3,721	1,888	341	30	1	93,732
計	6,814	2,959	458	36	1	189,542

備考 本表中最年長者女一ハ百三歳ナリ

社 寺 及 宗 教

社寺及宗教——本市ニ於ケル神社ハ四十一社ニシテ寺院百三十個寺、神道教會所四十一ヶ所、基督教會十一個アリ

區 別	縣	社	郷	社	村	社	招 魂 社	無 格 社	計	
神 社		1		1		9	1	29	41	
神 職		3		2		8 × 1	× 1	2	15 × 2	
區 別	眞 言	淨 土	臨 濟	曹 洞	眞 宗	日 蓮	計			
寺 院	15	19	6	13	66	11	130			
住 職	13 × 2	19	5 × 1	12	59 × 5	11	119 × 8			
説 教 所	22	1	—	1	12	7	43			
神道教會所	金光	黒住	神理	天理	大元	扶桑	神習	御嶽	其他神道	計
	7	2	4	20	1	2	2	1	2	41
基督教會	會 堂	講 義 所	布 教 者	信 者 數						
		11	3	24	1,567					
佛教濟世軍	所 在 地	眞 宗	布 教 者							
	研 屋 町		1	4						

學 事

教 育——昭和二年度末ニ於ケル學齡兒童三〇、八三四名ノ内就學ノ始期ニ達シタルモノ二六、一七二名就學ノ始期ニ達セザルモノ四、五六二名之ヲ前年ニ比スレバ就學ノ始期ニ達シタルモノ四、七五八名就學ノ始期ニ達セザルモノ三六一名ノ増加ヲ見ル

昭和二年末ニ於ケル小學校ハ官公立二一校私立三校計二四校ニシテ其ノ教員數五六〇名兒童數二五、一四〇名ナリ之ヲ前年ニ比スルニ教員一四名兒童六一六名増加セリ卒業生ハ昭和二年三、五四四名ニシテ前年ニ比シテ、三三六名ノ減少ヲ示セリ

高等師範學校ハ一校ニシテ昭和二年度末現在ノ教授七九名生徒七〇四名ニシテ本年入學志願者二、五二〇名中入學者一九六名ナリ卒業生一九〇名ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ一名ノ増加ヲ見ル

高等工業學校ハ一校ニシテ昭和二年度末現在教授四一名生徒二四五名ニシテ入學志願者七二九名中入學者一二一名卒業生一一二名ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ卒業生一七名増加セリ

高等學校ハ一校現在教員數四〇名生徒六〇五名ニシテ入學志願者九二八名中入學者一八七名ナリ

縣立師範學校ハ一校教員三一名生徒四〇〇名ニシテ卒業生ハ本年二三〇名ナリ之ヲ前年ニ比スレバ二四名ノ増加ヲ來セリ

中學校ハ官立一縣立二私立四計七校教員二二七名生徒五、一八九名卒業生ハ本年八七〇名ニシテ前年ニ比スレバ二九名ノ増加ヲ示セリ而シテ本年入學志願者三、二五六名中入學者一、四八三名ナリ

縣立工業學校ハ一校ニシテ入學志願者六一四名中入學者二二四名現在生徒五六〇名教員五五名ナリ卒業生一六四名ニシテ前年ニ比スレバ三名ノ増加ヲ示セリ

商業學校ハ縣立一市立一私立二計四校ニシテ入學志願者一、二六五名中入

學者七二〇名現在生徒一、八九二名教員九二名ナリ卒業者二六四名ニシテ前年ニ比スレバ五四名ノ増加ヲ示セリ

高等女學校ハ縣立一市立一私立五計七校ニシテ教員二〇七名生徒五、三五九名卒業者一、一六四名入學志願者二、七一六名中入學者一、四四一名ナリ

商業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者一二二名中入學者一二二名現在生徒二〇八名教員二五名ニシテ卒業者ハ四九名ナリ

工業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者二九〇名中入學者二九〇名現在生徒二〇一名教員五五名ニシテ卒業者五〇名ナリ

盲啞學校ハ縣立一校教員一五名生徒二〇五名ニシテ本年入學者三一名卒業者一六名ナリ

青年訓練所ハ二一箇所其ノ指導員一三二名生徒一、四四五名ナリ

圖書館、高等師範學校所屬ノモノハ圖書數九九、二〇〇冊一ケ年ノ閱覽人員三一、九八〇人ニシテ平均一日八七人ナリ南隣ニ高等師範學校附屬教育博物館一アリ

淺野圖書館ハ圖書數五一、四一二冊閱覽人員一二、〇三九人ナリ

學 齡	種 別		男	女	計
	就 學	不 就 學			
學 齡	就學ノ始期ニ達シタルモノ		13,376	12,796	26,172
		不 就 學	45	55	100
		計	13,421	12,851	26,272
兒 童	就學ノ始期ニ達セザルモノ		2,373	2,189	4,562
		計	15,794	15,040	30,834
童	就學ノ始期ニ達シタル者百人中就學歩合		99.66	99.57	99.62

校 別	數	教職員保姆	學生生徒及兒童	入 學 者	卒 業 者
高等師範學校	1	79	704	196	190
高等工業學校	1	41	245	121	112
高等學校	1	40	605	187	170
師範學校	1	31	400	84	230
中 學 校	7	227	5,189	1,643	870
中 等 學 校	4	77	1,053	691	137
商 業 學 校	4	92	1,888	656	264
工 業 學 校	1	55	560	224	112
高等小學校	7	207	5,359	1,456	1,164
小 學 校	24	560	25,140	5,675	3,544
盲 啞 學 校	1	15	205	31	16
幼 稚 園	9	27	254	602	389
其地各種學校	13	159	1,070	1,083	445
計	74	1,610	42,672	12,649	7,643

校 別	校 名	校 名	校 名	
學 校	廣 島 高 等 師 範 學 校	千 田 町	私立修道學校(修道中學校内)	千 田 町
	廣 島 高 等 學 校	皆 實 町	私立廣島中學(山陽中學校内)	南竹屋町
	廣 島 高 等 工 業 學 校	千 田 町	私立鯉城中學(廣陵中學校内)	宇 品 町
	廣島高等師範臨時教員養成所	千 田 町	縣立廣島高等女學校	下 中 町
	廣 島 第 一 中 學 校	國 泰 寺 町	縣立廣島女子專門學校	宇 品 町
	廣 島 第 二 中 學 校	觀 音 町	市立廣島高等女學校	船 入 町
	廣島高等師範學校附屬中學校	千 田 町	私立山中高等女學校	千 田 町
	廣 島 縣 師 範 學 校	皆 實 町	私立進德高等女學校	千 田 町
	廣島縣立廣島商業學校	南竹屋町	私立廣島女學校	上流川町
	市立廣島市商業學校	觀 音 町	私立安田高等女學校	西白島町
	市立廣島商業專習學校	袋 町	私立廣島高等家政女學校	西白島町
	私立松本商業學校	尾長町	縣立廣島盲啞學校	小 町
	廣島縣立工業學校	千 田 町	私立廣島教員講習所	國 泰 寺 町
	市立廣島工業專修學校	千 田 町	私立廣島勞働學校	袋 町
私立修道中學校	千 田 町	私立廣島高等簿記學校	白島中町	
私立山陽中學校	南竹屋町	私立廣島女子齒科醫學校	上流川町	
私立松本中學校	尾長町	私立廣島鍼灸學校	廣 瀨 町	
私立廣陵中學校	宇 品 町	私立フレーザー英語學校	三 川 町	

學 校	私立廣島育英學校 私立廣島高等美藝女學校 私立廣島產婆看護婦學校	八丁堀 村木町 三川町	私立愛仁看護助産學校 私立廣島女子商業學校 私立常盤女學校	猫屋町 段原町 觀音町
圖書館(高師内)	館 數	圖 書 數	閱 覽 人 員	
	1	99,200	31,980	
淺野圖書館	1	51,412	12,039	

上 水 道

上水道——上水道ハ明治二十九年軍用水道ト相俟テ起工シ同三十一年竣工セリ、其ノ工費ハ軍用六三九、八四五圓ニシテ市有二九四、〇六五圓ヲ要セリ、而シテ軍用水道ハ同三十一年九月一日ヨリ向フ三十ケ年間本市使用ノ許可ヲ得タルモノニシテ同三十二年一月ヨリ陸軍諸官衛及市内一般ニ給水ヲ開始セリ當時ノ施設ハ人口一〇〇、〇〇〇ニ對スルモノニシテ一日ノ最大給水量ハ四五〇、〇〇〇立方呎(七〇、二〇〇石一人一日最大給水量三立方呎七五)ナリシガ戸口逐年増加シ僅々十ケ年ニシテ給水限度ノ人口ヲ超ユルニ至リシカバ同四十年三月第一期擴張工事ヲ起シ同四十一年三月竣工セリ、此ノ工費一四五、五九四圓ヲ要シ人口一六〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量六〇〇、〇〇〇立方呎(九三、六〇〇石)ヲ供給シ、尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルニ於テハ優ニ給水量七五〇、〇〇〇立方呎(一一七、〇〇〇石)ノ需要ヲ充タスコトヲ得ルニ至レリ、然ルニ本市ノ發展著シク人口益々増加シ既設ノ設備ニテハ或ハ給水ノ不足アルヲ慮リ大正十年五月第二期擴張工事ヲ起シ同十三年六月竣工セリ此ノ工費ハ實ニ二、一三〇、〇一七圓ニシテ人口二五〇、〇〇〇ニ對スル最大給水量(從來ハ一人一日最大給水量三立方呎七五ヲ五立方呎二五トス)一、三一〇、〇〇〇立方呎(二〇二、〇〇〇石)ヲ供給尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルトキハ優ニ二、〇〇〇、〇〇〇立方呎(三〇八、〇〇〇石)ノ需要ヲ充シ得ルニ至レリ、水源

地ハ面積二九、六九〇坪(九八、一四九平方米)沈澱池三個此ノ容積四八〇、〇〇〇立方呎(七四、〇〇〇石)濾過池七個此ノ濾過容積一三三、〇〇〇平方呎、砂溜池、一個量水池一個、機關室一棟、取水唧筒室一棟、送水唧筒室一棟、量水室二棟アリ、山上ニ配水池五個ヲ設置シ此ノ容積三二五、〇〇〇立方呎(五〇、〇〇〇石)ナリ、又太田川沿岸(安藝郡牛田村)ニ取次場一ヶ所取水塔一基ヲ設ケ之レヨリ取水唧筒井迄自然流入シ唧筒ヲ以テ各池ニ引キ附近海拔一七〇呎ノ山上ニアル配水池ニ壓送シ所謂唧筒配水法ニ依リテ市内ニ配水セリ、其ノ本管ハ二四吋、二〇吋、八吋ノ三條ニシテ陸軍各兵營並ニ市内各町ニ及ブ各町道路面上約五十間毎ニ一個ノ割合ヲ以テ公設防火栓ヲ設置セリ

區 別		給 水 戸 數	給 水 量	給 水 料				
上 水 道	放給	27,282	34,696,560石 (6,258,947,155立)	167,224.080				
	任水	15,445		75,392.140				
	計	7,770	17,597,911石 (3,174,504,763立)	215,045.650				
	量							
	給	99	3,857,858石 (695,922,862立)	30,859.140				
	水	27	1,801,957石 (325,056,825立)	5,402.080				
	船	2	120,344石 (21,708,975立)	2,717.520				
	合	50,625	58,074,630石 (1,047,614,058立)	496,646.610				
	給	全 戸 口	給 水 戸 口	水道外ノ水ヲ使 用スル戸口	現住戸口百ニ對 スル給水戸口			
	水	戸 數	戸 數	戸 數	戸 數			
戸	人口	人口	人口	人口				
口	52,743	211,678	50,625	202,193	2,118	9,485	96	96

上 水 道	配 防 水 管 及 栓	配 水 管			防 火 栓						
		軍用線長	市有線長	計	公設數	私設數	軍用數	計			
		30.131 <small>米</small>	180.376 <small>米</small>	210.376 <small>米</small>	1.399	863	306	2.568			
		7里24町12間	45里33町27間	53里21町39間							
		放 任 給 水 栓			計 量 給 水 栓					合 計	
		專用	公設用	私設用	計	專用	湯屋用	船舶用	陸軍用		計
		26.041	355	2.326	28.722	10.722	692	9	1.929	13.377	42.099
		累給	年 度	給 水 量	一 日 平 均 給 水 量	給 水 人 口	一 日 一 人 平 均 給 水 量				
		年 水 比 較 量	大正十四年	52,211,120 <small>石</small> (9,418,416.148 <small>立</small>)	143.044 <small>石</small> (25,803,850 <small>立</small>)	179,451	797 <small>合</small> (144 <small>立</small>)				
			昭和元年	58,256,989 <small>石</small> (105,090,365.027 <small>立</small>)	159.608 <small>石</small> (29,791,847 <small>立</small>)	197,744	807 <small>合</small> (146 <small>立</small>)				
			同 二 年	58,074,630 <small>石</small> (104,761,405.803 <small>立</small>)	159.109 <small>石</small> (28,701,332 <small>立</small>)	202,193	751 <small>合</small> (135 <small>立</small>)				

衛 生 昭和二年

衛生——塵芥搬出量ハ昭和二年中七、五一二、〇四五貫(二八、一七〇、一六九石)ニシテ之ニ要スル掃除人夫延三五、〇四〇人ヲ要セリ之ヲ前年ニ比スレバ塵芥搬出量一、八五五、九二五貫(六、九五九、七一石)ノ増加ヲ見掃除人夫延五、一九二人ノ減少ヲ示セリ

公設便所ハ昭和二年末五四個所ニシテ平均二個町＝一個所強ノ割合トナル

醫師ハ昭和二年末ニ於ケル現在數三六五名ニシテ昨年ニ比シ五名ノ減少ヲ見ル而シテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ五七九人ナリ齒科醫師ハ一二九名ニシテ昨年ニ比シ一〇名ノ増加ヲ見ル

産婆ハ昭和二年末二三七名之ヲ昨年ニ比スレバ一四名減少セリ

傳染病患者ハ昭和二年中四七五人ニシテ其ノ最モ多キハ八月八六人九月六八人七月五九人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ總計ニ於テ九三人ノ増加ヲ示セリ

而シテ傳染病死亡者ハ一六三人ニシテ其ノ死亡者ノ最モ多キハ腸チブス九五人痲痢五三人等トス又其ノ死亡者ノ年齢ヲ見ルニ三十歳乃至四十歳ノモノ最モ多シ

醫 師 其 ノ 他	醫 師	藥 劑 師	產 婆	看 護 婦	鍼 灸	按摩其他
	365	167	237	711	165	275
	齒科 129					
病 院 數	醫 師	藥 劑 師	調 劑 手	看 護 婦	入 院 患 者	外 來 患 者
	17	57	23	—	71	3,713

病 院	縣立廣島病院	水主町	私立吉永内科病院	西魚屋町
	縣立廣島診療院	船入町	私立廣島腦病院	白島西中町
	市立船入病院	船入町	私立清病院	細工町
	私立博愛病院	下中町	私立關西病院	國泰寺町
	私立堀田眼科病院	大手町八丁目	株式會社眞宗病院	上流川町
	私立難波病院	立 町	私立中央病院	大手町八丁目
	私立田邊外科病院	尾道町	私立江藤病院	小 町
	私立小久保病院	天神町	私立原田病院	國泰寺町
	私立進藤病院	細工町		

傳 染 病	病 名 別	大正十四年		大正十五年昭和元年		昭和二年	
		患 者	死 亡	患 者	死 亡	患 者	死 亡
	コ レ ラ	1	1	—	—	—	—
	赤 痢	46	12	36	14	52	8
	疫 痢	35	23	69	45	67	53
	腸 チ ブ ス	417	110	202	75	324	95
	痘 瘡	3	1	17	5	—	—
	發 疹 チ ブ ス	1	—	—	—	—	—
	猖 紅 熱	5	3	30	7	6	1
	バ ラ チ ブ ス	4	—	4	2	11	1
	デ フ テ リ ア	18	10	16	6	13	4
	流行性腦脊髄膜炎	1	—	8	2	2	1
	計	531	160	382	156	475	163

死 年 比 亡	年次	男	女	計	現住人口 千人 = 付
	大正十四年	1,747	1,771	3,518	18.8
	大正十五年	2,260	2,081	4,341	21.1
	昭和元年				
昭和二年	1,786	1,808	3,594	16.9	
衛 組 生 合	組合數	役員數	總會開會度數	講話開會度數	經費總額
	212	2,100	212	212	25,865 <small>円</small>
塵 芥 搬 出 量	數		價		額
	7,512.045				6,995 <small>円</small>
公 設 便 所	兩便所併置		小便所	收 入	
	54		-	126 <small>円</small>	

下水道——本市ノ地盤タルヤ太田川ノ下域ニ堆積シタル泥砂ニヨリテ形成セラレタル數箇ノ三稜洲ヨリ成リ其ノ地勢極メテ平坦ニシテ海面ヲ抜クコト少ク南部新開地ノ如キハ平均干潮面ヲ抜クコト僅カニ三尺内外ニ過ギザル部分アリ一般ニ北方ニ赴クニ從ヒ土地次第ニ高ク河水ノ最高水位以上ニ達スル部分アリト雖其ノ他ハ概ネ卑濕ニシテ僅カニ圍繞セル堤防ヲ以テ河水ノ浸入ヲ防グニ過ギズ此故ニ市内ヲ縱横ニ貫流セル下水溝ハ泥土堆積シテ汚水ヲ通ズル其ノ深キモノモ僅ニ四、五寸ニ過ギズ是ヲ以テ毎歲降雨期ニ際シ河水激増スルトキハ雨水汎濫床下ヲ浸シ屎尿ト混濁溢流シテ井水ヲ汚濁シ忽チ泥澤ノ觀ヲ呈スルモ幾回ノ干潮ヲ經テ初メテ減水スルヲ俟ツノミナルヲ以テ時ニ惡疫ノ流行ヲ免レザリキ故ニ之レガ救濟方法トシテ一日モ速ニ上下水道ヲ完備セシムルノ必要ヲ認ムルコト久シカリシガ偶々明治二十七八年日清戰役ノ起ルアリ本市ニ軍用水道ヲ布設セラレタリシガ市モ亦之ト併行シテ上水道ヲ布設ヲ企畫シ明治三十一年八月其ノ工ヲ竣ヘタルヲ以テ次デ下水道ヲモ改良シテ公衆衛生機關ヲ完備セシメンコトヲ企畫シ明治三十一年五月之ガ工事設計ヲ工學士市瀬恭次郎ニ囑託シ同三十三年三月設計ヲ了リタルモ巨額ノ工費ヲ要シ市ハ曩ニ上水道敷設ノ爲メ巨費ヲ投

ジタルガ故ニ續テ之ヲ支出スルノ餘カヲ存セズ一時中止スルノ止ムナキニ至リタリキ然レドモ上水道完成スルモ下水道ノ設備ニシテ整ハザレバ衛生上ノ目的ヲ完ウスルヲ得ザルヲ以テ明治三十九年遂ニ之ヲ五ケ年繼續事業トナシ總工費ノ三分ノ一ハ之ヲ國庫ノ補助ニ依リ以テ宿望ヲ達セントシ設計及諸般ノ準備ヲ整ヘテ政府ニ申請シ明治四十年三月總工費九十七萬五千八百四十三圓ニ對スル三分ノ一即三十二萬五千圓ヲ補助セラルルコトナリ是ニ於テ初メテ下水道敷設ノ機運ニ到達セリ然ルニ年々市區ノ發展ニ伴ヒ敷設區域ノ擴大セルト諸物價ノ騰貴セルトハ工費ノ増額ヲ餘儀ナクシ且ツ國庫補助金ハ之ヲ七ケ年ニ分割交附セラルヲ以テ市モ亦七ケ年繼續事業ニ改メ之ガ爲事務費ノ増加ヲ來シ終ニ總工費百十九萬五千六百六十八圓ヲ計上シ明治四十年九月十六日主務大臣ニ築造ノ認可ヲ申請シ同年十月二十六日認可ヲ得翌明治四十一年三月二十五日工事ニ着手セリ而シテ中途財政上或ハ工事ノ都合ニ依リ再三工事ヲ延期シ大正五年五月三十日ニ至リ全部竣工ヲ告ゲタリ斯クノ如ク豫定ノ工事期間七ケ年ヲ後ルコト三ケ年且起工以來諸物價ノ昂騰ハ支出ノ増加ヲ來シ爲メニ所要工費ノ決算額ハ百四十六萬三千二百五十六圓ニ達シ起工當時ノ豫定額ニ比シ二十六萬七千五百八十八圓(國庫補助申請當時ノ額ヨリハ四十八萬七千四百十三圓)ヲ増加セリ尤モ市區發展ニ伴フ擴張區域内敷設費二十六萬八千四百圓ニ對シテハ大正四年二月二十五日國庫補助ヲ追願シ同年三月五日其ノ三分ノ一即八萬九千圓ノ補助ヲ聽許セラレタリ今其ノ工區別及着手、竣工年月日並ニ下水管渠其ノ他構造物等ヲ示セバ次表ノ如シ

排水區域		起工年月日	竣工年月日	築造費
工區名	地 域			
第一區	猿猴川以東	大正二年六月十八日	大正三年九月二日	174,251.341 <small>円</small>
第二區	猿猴川間	同三年三月十三日	同四年二月二十五日	199,737.132
第三區	白鳥一圓	明治四十四年二月十日	明治四十四年八月七日	73,181.303

排水區域	起工年月日	竣工年月日	築造費
第四區 京橋川間 平田屋川間	明治四十五年 五月十四日	大正五年 五月三十日	335,118.922 ^円
第五區 平田屋川間 元安川間	同 四月二十日	明 治 四十五年 三月二十七日	255,021.904
舊城濠 埋立地内	同 四月十四日	同 四十四年 四月二十日	6,414.661
第六區 元安川間 本天滿川間	同 四月十一日	同 四十二年 四月二十五日	77,623.746
第七區 天滿川間 福鳥川間	同 六月十日	大 正 二 年 三月三十日	214,557.487
第八區 福鳥川間 福山川間	大 正 四 年 一月十日	同 四 年 八月三十日	79,095.713
第九區 福山川間 江波	同 一月十日	同 八 年 八月二十五日	24,552.249
第十區 江波	同 六月十四日	同 三 年 三月二十三日	14,640.448
第十一區 宇品	同 四月十日	同 四 年 八月一日	9,064.882
計	—	—	1,463,256.788

備考 本表築造費ハ工事費、事務費、補償費等ノ總額トス

下水管渠及構造物

區別	單位	延長又ハ個數	摘要
土管	間	53,425.11 ^間 (97,201) ^米 *	幹線
卵形渠	同	4,572.94 (8,322)	同 コンクリート渠
船形渠	同	5,687.11 (10,350)	同 同
モルタル管	同	2,608.71 (4,747)	同
暗渠	同	134.00 (243)	同 石積矩形
開渠	同	11,150.47 (20,293)	同 同
街(雨落溝)渠	同	94,770.31 (172,481)	同
雨水引入管	同	6,613.67 (12,036)	同 内徑五寸土管
各戸下水公設枝管	同	25,479.70 (46,373)	同 四寸同
計		204,442.02 (372,046)	

區別	單位	延長又ハ個數	摘要
人孔	箇所	2,527	
燈孔	同	443	
開渠橋	同	132	
サイフォン	同	30	
雨水吐	同	9	
雨水樋	同	3,868	
汚水樋	同	14	
吐口	同	75	
養水吐	同	1	
溜池	面坪	45,203.5 ^坪 (15,179) ^{平方米}	七箇所分
排水唧箇所	箇所	6	

昭和二年末ニ於ケル現在左ノ如シ

幹支線延長	人孔數	燈孔數	各戸接續管長	排水面積
256,363 ^米 (141,000) ^間	2,842	452	56,435 ^米 (31,039) ^間	6,505.449 ^{平方米} (1,967.590) ^坪

警察裁判警備刑務

警察、裁判、警備、刑務

署	數	所轄町數	派出所	駐在所
警察署	4	117	33	4
警視廳				
警部				
警部補				
巡查部長				
巡查				
計	2	3	12	28
				260
				305

裁 判 所	廣島控訴院	10	—	—	1	10	—	21
	同 檢事局	—	4	—	1	4	—	9
	廣島地方裁判所	12	—	2	1	11	—	26
	同 檢事局	—	4	—	1	4	—	9
	廣島區裁判所	4	—	—	1	9	6	20
	同 檢事局	—	5	1	1	5	—	12

辯護士公證人及 執達吏	辯護士	42	公證人	3	執達吏	6

盜	區 別	貨 幣	數 類	衣 類	其 他	計
	被 害 貨 財	257.469 ^円	218 ^円	56,524 ^円	76,100 ^円	370,311 ^円
難	發 見 貨 財	290.436	114	26,938	90,294	407.782

變 死 者	自 殺	過 失	殺 害	災 害	其 他	計	
	男	37	29	5	—	1	72
	女	24	6	—	—	—	30
者	計	61	35	5	—	1	102

火 災	度 數	棟 數	燒 失 坪	損 害 高
	103	124	2,259 ^坪	464,032 ^円

消 防	組 頭	小 頭	信 號 擔 當 者	消 防 手	常 備 消 防 手	機 關 士	運 轉 手	計
	1	4	9	22	227	30	1	6

刑 務 所	刑 務 所 長	典 獄 補	看 守 長	監 獄 醫	教 誨 師	看 守	女 監 締	其 他	計
	1	—	9	4	5	176	15	39	249

區 別	男	女	計
受 刑 者	989	—	989
刑 事 被 告 人	94	3	97
勞 役 場 入 場 者	7	—	7
携 帶 乳 兒	—	1	1
計	1,090	4	1,094

救 恤

救 恤

區 別	國 費	市 費			濟 生 會	計
		食 費	施 療	費		
人 員	2 ^人	112 ^人	108 ^人	54 ^人	276 ^人	
金 額	50 ^円	5,183 ^円	3,170 ^円	1,000 ^円	9,403 ^円	

區 別	男	女	計
行 旅 病 人	43	—	43
行 旅 死 亡 人	2	—	2
計	45	—	45
精 神 病 者	30	—	30
計	75	—	75

商 工 業

商工業——商工會議所議員三四名特別議員一四名選舉權ヲ有スルモノ三、五一〇名經費四二、八九一圓ナリ

産業組合一九組、同業組合一三組、準則組合四組、漁業組合四組、任意組合四八組、畜産組合一組、計八九組ナリ

會社ハ本店四一一支店九八ニシテ之ガ業別次ノ如シ

工業一六二、商業一八六其他九三ナリ 今其ノ組織別ヲ見ルニ 株式會社二二九、合資會社二一一、合名會社六二、相互會社七ナリ銀行ハ本店三、支

店及出張所三〇ニシテ本店ノ資本金總額一九、〇〇〇、〇〇〇圓ナリ而シテ本支店預金總額六九四、〇二一、八九八圓ニシテ前年ニ比スレバ四六、六五一、〇一三圓ノ増加ヲ示セリ

工場(職工五人以上ノモノ)三九四箇所ニシテ職工總數八、六五六(男五、四二〇 女三、二三五)ナリ今之ヲ業態ニ依テ分類スレバ飲食物品及嗜好品製造業八八、金屬工業六七、纖維工業二七、木竹類ニ關スル製造業七一 機械器具製造業一三、化學工業三一其他一〇四ナリ瓦斯使用戸數燈火用一二、八六三燃料用一二、八六三機械用三戸ニシテ一年間ニ於ケル瓦斯使用量二〇四、四〇〇、〇〇〇立方呎此ノ價額六二三、四二〇圓ナリ之ヲ前年ニ比スレバ使用戸數七、八四一戸増加セリ

電燈需用戸數五〇、〇八六電力需用戸數一、三一四戸トス之ヲ前年ニ比スレバ電燈需用戸數一、三四二戸増加シ電力需用戸數六六戸減少セリ

供給電量ハ四八、一八〇、〇〇〇KWHニシテ電力及電燈ノ料金ハ二、四〇六、九七〇圓ナリ

商業家	本業		副業		計	
	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口
	14,405	25,658	1,783	3,541	16,188	29,199
工業家	本業		副業		計	
	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口
	8,342	22,970	643	1,095	8,985	24,065
工場 (職工十人以上)	工場數	動力		職工		
		箇所數	馬力數	男	女	
	148	1,635	6,648	3,979	2,913	
市場	市場名		場數	賣買高		
	公設市場		6		712,992	
町設市場		4		135,000		
私設市場		18		9,719,000		

區別	組合數	組合員
産業組合	19	7,954
同業組合	13	15,235
準則組合	4	385
任意組合	48	3,425
漁業組合	4	904
畜産組合	1	12

劇場及寄席 興行場	區別	場數	一ケ年	一ケ年
			觀客數	收入高
	劇場	5	440,265	172,969
	寄席	?	?	?
	興行場	12	2,298,075	771,637
	計	17	2,738,340	944,606

勸商場	總數		店舗數	
	數		數	
	7		244	

電氣	線路長	線條長	電燈需用戸數	電力需用	
	(1,724,899 ^哩)	(701,28 ^哩)	50,086 ^戸	戶數	總馬力數
				1,314 ^戸	6,906

瓦斯	瓦斯管延長	供給戸數	供給高
	224,215 ^限	25,729 ^戸	204,400,000 ^{平方限}

區別	輸移入		輸移出	
縣外輸移出入	100,240,768 ^円		79,338,171 ^円	
字品港輸出入	4,721,485		424,518	
字品港移出入	16,528,297		4,069,812	
縣中主要ナルモノノ輸出入品	洋産線綿	5,200,000		
	打紡績綿糸	—		2,025,514
	人造絹糸	1,346,400		3,878,040
	絹織物	8,400,000		5,430,300

區 別	輸 移 入	輸 移 出
縣 外 輸 移 出 入 品 中 主 要 ナ ル モ ノ	絹 綿 交 織 物 ^円	2,590,000
	綿 織 物	6,500,000
	麻 織 物(着尺物)	1,400,000
	麻 織 物(着尺物)	1,700,000
	毛 織 物(着尺物)	950,000
	洋 服 地	2,800,000
	綿 ネ ル	455,000
	染 手 拭	1,440,000
	自 轉 車	150,000
	煮 乾 鱈	945,000
	昆 布	720,000
	揮 發 油	20,000
	機 械 油	130,000
	葉 煙 草	2,146,871
	刻 煙 草	1,818,498
	卷 煙 草	2,663,101
	果 實	720,000
	箆 筍	2,840,000
	丸 太 材	1,500,000
	角 材	425,000
	板 類	480,000
	履 物	2,024,000
	藥 劑	200,000
	洋 紙	800,000
	針 炭	2,400,000
	石 炭	1,800,000
	ゴ ム 製 品	350,000
セ メ ン ト	1,000,000	
圖 書	2,625,000	
	2,900,000	
木 材	1,035,095	37,015
豆 粕	686,451	—
石 炭	1,256,276	—

區 別	輸 移 入	輸 移 出			
宇 品 港 輸 出 入 品 中 主 要 ナ ル モ ノ	牛 肉 ^円	416,901			
	雞 卵	328,642			
	高 梁	140,000			
	鬘 毛	80,364			
	鱗 寸 箱 木 地	—	91,189		
	打 綿	—	25,566		
	清 酒	—	64,954		
	縫 針	—	15,035		
	疊 表	—	47,498		
	米	1,710,000	—		
	雜 穀	807,500	139,920		
	牛 肉	257,000	12,672		
	其 他ノ 食 料 品	485,400	1,044,325		
	生 魚	103,360	25,120		
	生 鱈	—	502,640		
	其 他ノ 水 産 物	1,695,595	—		
	綿	1,595,000	367,500		
	綿 糸	671,550	378,550		
	セ メ ン ト	450,000	1,950		
	石 粉	—	247,500		
	金 物	660,000	17,640		
	木 材	541,800	936,000		
	板 材	758,450	—		
	肥 料	126,900	134,960		
	雜 貨	4,780,800	469,500		
	株 式 取 引 所	年 次	賣 買 高	受 渡 高	
			株 數	價 額	株 數
大 正 十 五 年 年		株 3,090,250	円 440,410,543	株 259,250	円 34,459,990
昭 和 二 年		2,999,900	411,102,134	183,100	20,119,050

平	年	次	上	米	中	米	下	米
均	大	正	十	四	年	42.150 ^厘	40.950 ^厘	38.560 ^厘
相	大	正	十	五	年	37.580	36.560	34.010
場	昭	和	二	年	35.420	34.190	32.000	

品	目	數	量	價	額	戶	數	職	工
工	人	造	絹	糸	2,397.000 ^{封度}	5,502.000 ^円	1	1,105 ^人	
	精	製	米	材	135.000 ^石	4,725.000	123	286	
	紡	績	綿	糸	19.800 ^貫	4,570.000	59	186	
	印	刷	詰	綿	948,378 ^貫	2,597.694	25	335	
	製	製	品	類	828,620	2,485.860	22	715	
	護	菓	子	類	?	1,350.000	13	443	
	洋	服	筒	類	85.000 ^香	1,275.000	115	533	
	算	色	木	綿	28.000 ^本	1,120.000	149	392	
	色	履	晒	木	801.550 ^反	801.550	5	116	
	產	洋	手	拭	紙	2,502.500 ^足	786.542	50	工賃仕上
染		炭	瓦	斯	1,250.000	750.000	4	60	
石		醬	油	針	552.000 ^反	662.400	6	83	
醬		縫	針	類	?	634.269	1	59	
酒		傘	疊	料	7.200 ^本	615.490	21	35	
傘		船	底	塗	1,928,393.000 ^石	578.518	47	245	
疊		船	底	塗	7.492 ^本	562.020	11	101	
船		鑄	物	類	700.000 ^枚	560.000	48	200	
鑄		足	建	具	216.000 ^枚	540.000	90	270	
足		製	製	罐	?	502.419	2	31	
製	製	製	罐	1,585.000 ^足	443.800	18	190		
製	製	製	罐	?	439.500	164	382		
製	製	製	罐	10,714,250	414.570	9	73		

品	名	數	量	價	額	戶	數	職	工	
工	清	涼	飲	料	水	?	400.300 ^円	26 ^戸	178 ^人	
	牛	馬	鹽	皮	?	17.200	8	37		
	賣	鬘	附	物	?	355.000	81	220		
	賣	鬘	附	物	?	323.200	4	8		
	賣	鬘	附	物	?	474.920 ^貫	16	89		
	賣	鬘	附	物	?	18.550 ^石	40	70		
	賣	鬘	附	物	?	2,900.000 ^圓	4	121		
	賣	鬘	附	物	?	152.000 ^足	5	17		
	賣	鬘	附	物	?	3.015 ^噸	1	61		
	產	板	革	靴	靴	?	271.343	41	150	
自		轉	車	鑑	札	?	229.244	2	108	
蠟		電	力	力	?	761.700	4	27		
電		力	力	力	?	7,390.700 ^{K.W.H.}	1	29		
甲		馳	馳	馳	?	215.000	2	112		
瓦		斯	コ	ーク	ス	11,800 ^噸	1	22		
骸		餅	炭	炭	炭	14,976.278 ^斤	1	66		
石		材	製	品	品	2,800 ^石	127	52		
其		他	他	他	他	?	202.850	38	45	
計		計	計	計	計	?	16,749.721			
					62,878.420					

備考 一ヶ年産額二十萬圓以上ノモノヲ掲記セリ

工場

工	飯	村	鐵	工	所	鐵	工	業	廣	瀬	町
	林	鑄	物	工	場	鑄	物	業	皆	實	町
	藤	川	銑	鐵	工	場	同		千	田	町
	平	尾	工	業	部	同			吉	島	町
	廣	島	板	金	製	作	所	鉛	筆	金	具
	山	田	文	具	金	具	製	造	所	同	
	壽	美	商	店	鑑	札	製	作	所	同	
	壽	美	商	店	鑑	札	製	作	所	同	
	壽	美	商	店	鑑	札	製	作	所	同	
	壽	美	商	店	鑑	札	製	作	所	同	

工

場

與田金ハソ製作所	金ハソ製造	上柳町
青木製針工場	製針業	天神町
山本製針工場	同	鷹匠町
三宅製針工場	同	廣瀬町
井畑ゴム工業所	ゴム製品製造	蟹屋町
野口ゴム工業所	同	段原町
廣島紙器製作所	紙製品製造	觀音町
三星製菓工場	菓子製造	蟹屋町
丹波屋製菓工場	同	廣瀬町
新見罐詰製造所	罐詰製造	廣瀬町
木村罐詰製造所	同	南竹屋町
鯉城罐詰製造所	同	觀音町
辻本昆布製造所	昆布製造	廣瀬町
津崎商店廣島製材工場	製材業	船入町
宮本瓶冠製造工場	瓶冠製造	皆實町
西尾壘工場	壘製造	堺町一丁目
西久製綿所	製綿業	廣瀬町
櫻メリヤス足袋製造所	足袋製造	水主町
増田兄弟活版所	印刷業	鹽屋町
廣島製紙所	金剛砂砥石	蟹屋町

備考 本表ハ法人=アラザル工場=シテ職工二十五人以上ヲ掲載ス

會社

會社——市内ニ於ケル會社ハ本店四一一資本金九一、九六六、五八八圓ニシテ支店三〇ナリ

會社	區別	本店	支店	資本金總額	拂込額	積立金
會社	株式	143	86	81,168,000	79,695,359	7,225,777
	合資	209	2	6,735,536	4,425,698	466,009
	合名	59	3	4,063,052	3,824,120	362,682
	相互	-	7	-	-	-
	計	411	98	91,966,588	87,945,177	8,054,468

會

社

廣島電氣株式會社	電燈電力供給事業	大手町七丁目
廣島瓦斯電軌株式會社	電車瓦斯供給	大手町三丁目
大崎電氣株式會社	電燈電力供給	南竹屋町
廣藝備鐵道株式會社	旅客貨物運輸	蟹屋町
廣電商券株式會社	得社株式並社債取	大手町七丁目
廣島臨港土地株式會社	土地開拓改良開墾整	宇品町
本場關戶蚊帳株式會社	麻織物製造	廣瀬町
廣島畜産株式會社	罐詰製造	廣瀬町
株式會社松浦商店	加硫ゴム製造	鐵砲町
茂森ゴム工業株式會社	ゴム製造	段原町
三篠商事株式會社	金錢貸附	紙屋町
廣島土地建物株式會社	土地建物賃貸	堀川町
岡本石碎株式會社	石碎製造販賣	紙屋町
山陽合名會社	木材賣買製材木材防	河原町
明治足袋株式會社	腐事業	天滿町
口の出醬油株式會社	足袋製造	宇品町
合資會社瀨川倉庫	醬油味噌製造	西地方町
觀音地先埋立株式會社	倉庫業	下中町
播電鐵道株式會社	觀音地先ノ開拓及開	紙屋町
大海電氣株式會社	鐵道運送業	南竹屋町
株式會社鈴木商店	電力電燈供給	塚本町
廣島炭加製造株式會社	砂糖商製	船入町
報濟製藥株式會社	炭酸カルシウム製	稻荷町
東洋工業株式會社	賣藥製造	吉島町
關西林業株式會社	コルク製造	河原町
株式會社宇品造船所	製造船造機	元宇品町
二葉鑛泉株式會社	清涼飲料水製造	廣瀬町
株式會社淺枝罐詰製造所	罐詰製造	廣瀬町
株式會社廣島電機製作所	電氣機械器具製造	段原町
廣島製紙株式會社	板紙製造販賣	吉島町
廣島製酒株式會社	燒酎製造販賣	船入町
廣島製飴株式會社	水飴製造	觀音町
合資會社羽田別莊	料理	船入町
洋水産市場株式會社	鮮魚海産物委託	大手町七丁目

合資會社 大西商店
 廣島物產株式會社
 合資會社 廣島株式取引所
 合資會社 星光會社
 廣島運送株式會社
 合名會社 藤野製綿所
 合資會社 大正屋吳服店
 合資會社 丸安高橋吳服店
 藝備倉庫株式會社
 株式會社 廣島印刷所
 廣島合同運送株式會社
 株式會社 立石商店
 合名會社 多山本店
 宇品土地株式會社
 株式會社 藝備日日新聞社
 種ヶ島電氣株式會社
 合名會社 湯澤綿行
 中國塗料株式會社
 廣島材木株式會社
 株式會社 中野商店
 宇品運送株式會社
 共榮土地建物株式會社
 中國ゴム工業株式會社
 中部合同コークス株式會社
 橫山商事株式會社
 株式會社 自動車商會
 廣島電氣火葬株式會社
 廣島旭木材株式會社
 中外石碎株式會社
 岡本商事株式會社
 朝日船底塗料株式會社
 廣島縣農產株式會社
 島本商事株式會社
 廣島罐詰株式會社

砂糖商
 倉庫米穀肥料物品委
 托
 有價證券取引買賣
 星製藥卸賣
 汽車運送倉庫業
 製綿製織
 吳服太物小賣
 吳服小賣商
 倉庫業
 活版印刷業
 貨物運送
 木綿織物販賣
 和洋反物商
 土地建物建築買賣
 貨業
 新聞紙發行
 電力電燈供給
 中入綿布團綿製造
 塗料油脂化學工業用
 品原料
 製材業
 洋反物及綿布加工
 海運業
 土地建物賃貸
 ゴム品製造
 コークス販賣
 ゴム製品販賣
 自動車販賣
 人畜燒屍衣及汚物
 燒却
 木材委託販賣
 銀砂中粉粉末其他製
 造
 縫針製造
 船底塗料製造
 農具製造販賣
 金錢貸付業
 罐詰製造業

堺町二丁目
 大須賀町
 銀山町
 研屋町
 蟹屋町
 蟹屋町
 細工町
 紙屋町
 蟹屋町
 八丁堀
 蟹屋町
 元柳町
 播磨屋町
 元宇品町
 大手町二丁目
 南竹屋町
 愛宕町
 吉島町
 千田町
 平田屋町
 宇品町
 小網町
 南竹屋町
 吉島町
 平塚町
 研屋町
 尾長町
 千田町
 觀音町
 紙屋町
 吉島町
 十日市町
 京橋町
 觀音町

合資會社 葛屋吉川洋服店
 株式會社 桐原製樟工場
 株式會社 大和屋商會
 明治水力電氣株式會社
 常盤土地建物株式會社
 關西藥業株式會社
 株式會社 歌舞伎座
 丸五合名會社
 日本冷蔵海運株式會社

洋服製造
 製樟
 清涼飲料水製造
 電力電燈供給事業
 土地建物賣買業
 賣藥問屋
 劇場賃貸
 材木販賣
 海運業

大手町五丁目
 船入町
 大手町八丁目
 南竹屋町
 斜屋町
 鷹匠町
 八丁堀
 水主町
 宇品町

備考 本表ハ資本金拾五萬圓以上ヲ掲載ス (資本金順)

銀行及金融

銀行及金融——銀行ノ本店四支店一六行ニシテ本支店ノ一ヶ年總預金額六
 九四、〇二一、八九八圓ナリ

銀行	銀行數		資本總金額		拂込額		積立金	
	支店及出張所	市内=本店ヲ有スルモノ	市内=本店ヲ有セザルモノ	預	金	預	金	
	3	19,000,000 ^円	6,250,000 ^円	3,758,344 ^円				
			14	23				
預	區別	官公預金	普通預金	貯蓄預金				
金	一ヶ年	22,018,826 ^円	672,003,072 ^円	10,827,818 ^円				
金	年末現在	4,238,389	110,658,042	8,311,905				
貸	區別	貸付金	當座預金貸越	計				
金	一ヶ年	310,605,615 ^円	110,764,381 ^円	421,369,996 ^円				
金	年末現在	62,346,125	4,747,554	67,093,679				

銀 手 形	送 金	拂 出	受 込
		141,282,260 ^円	112,692,430 ^円
	荷 爲 替	貸 出	取 立
		18,300,805 ^円	31,782,262 ^円
	割 引	當 所	他 所
		24,977,366 ^円	29,656,116 ^円
代 金 取 立	當 所	他 所	
	76,935,203 ^円	85,969,224 ^円	

株式會社藝備銀行	紙屋町	株式會社不動貯金銀行廣島支店	大手町四丁目
株式會社廣島縣農工銀行	大手町四丁目	株式會社第一銀行廣島支店	大手町一丁目
株式會社廣島合同貯蓄銀行	上流川町	株式會社川第百銀行廣島支店	革屋町
株式會社尾道銀行廣島支店	橋本町	株式會社十五銀行廣島支店	堀川町
株式會社尾道銀行大手町支店	大手町九丁目	株式會社安田銀行廣島支店	平田屋町
株式會社日本銀行廣島支店	水主町	株式會社昭和銀行廣島支店	大手町二丁目
株式會社三十四銀行廣島支店	中島本町	株式會社鴻池銀行廣島支店	播磨屋町
株式會社三井銀行廣島支店	革屋町	株式會社藤本銀行廣島出張所	塚本町
株式會社住友銀行廣島支店	紙屋町	株式會社山口銀行廣島支店	中島本町
株式會社東明銀行廣島支店	堺町三丁目		

手 形 交 換	年 次	一ヶ年交換枚數	同 上 金 額
	大正十四年	377,612 ^枚	269,916,471 ^円
	大正十五年 } 昭和元年 }	416,792	330,112,128
	昭和二年	361,606	239,774,326

郵 便 貯 金	年 次	預 入	拂 戻	年 末 現 在
	大正十四年	4,950,672 ^円	5,830,863 ^円	6,117,650 ^円
	大正十五年 } 昭和元年 }	5,236,169	5,494,259	5,909,675
	昭和二年	12,727,766	8,116,157	9,016,189

振 替 貯 金	年 次	振 替 金 額	拂 戻 金 額
	大正十四年	3,564,677 ^円	3,885,732 ^円
	大正十五年 } 昭和元年 }	3,107,220	4,155,461
	昭和二年	5,117,267	4,329,791

郵 便 爲 替	年 次	振 出	拂 渡
	大正十四年	4,767,300 ^円	9,159,413 ^円
	大正十五年 } 昭和元年 }	4,596,818	8,740,979
	昭和二年	5,185,342	9,240,384

質 屋 貸 金	年 次	店 數	貸 出 高	受 戻 高	流 質 高	年 末 現 在
	大正十四年	163 ^戸	1,335,046 ^円	339,188 ^円	69,677 ^円	926,181 ^円
	大正十五年 } 昭和元年 }	168	1,270,583	922,310	102,889	245,384
	昭和二年	165	1,241,781	870,424	98,112	273,245

農 業

農 業——本市ニ於ル農業戶數五、二二三戶人員七、四九六人ニシテ之ヲ
 昨年ニ比スレバ戶數八一戶人員四六人ノ増加ヲ見ル而シテ主ナル農産物ハ
 蔬菜(一ヶ年産額一、〇四六、四七五圓)米(一ヶ年産額一三九、八三二圓)
 麥(二〇〇、六六七圓)其他(一二、三四二圓)計(一、三九九、三一六圓)ナ
 リ之ヲ前年ニ比較スレバ三〇、六五一圓減少セリ畜産物ハ一ヶ年搾乳三、
 一二五石其價額一五六、二五〇圓ニシテ前年ニ比シ七〇五石三五、二五〇

圓増加セリ

大正九年一月市農會ヲ設立シ爾來順調ナル發達ヲ遂ゲ特ニ蔬菜園藝地トシテ中國第一ノ稱アリ

農 業 戶 數			農 業 者			農 業 地		
專 業	兼 業	計	專 業	兼 業	計	自作地	小作地	計
1.621	3.602	5.223	2.140	5.356	7.496	2.989	5.775	8.764
種 別	作 付	反 別	收 穫	高	價 額			
米		201.2		4.926	139.832			
麥		469.4		15.763	200.667			
其他農產物		?		?	1.058.817			
飼 畜 頭 數	牛	馬	豚	山 羊	計			
	245	390	944	44	1.623			
家 禽	飼 養 戶 數	家 禽 數	產 卵 數					
	3.492	69.353	3.099.025					
牛 乳	搾 取 所 數	乳 牛 頭 數	搾 乳 高	價 額				
	9	217	3.125	156.250				
屠 殺	屠 場 數	種 別	頭 數	斤 量	價 額			
	2	牛	16.844	923.487	2.385.994			
		犢	27	192	471			
		馬	85	3.811	6.478			
		豚	1.106	18.794	47.040			
		計	18.062	946.284	2.439.983			
家 畜 賣 買	牛	馬	豚	計	賣 買 高			
	11.522	110	-	11.660	1.666.611			
	犢							
	28							

水 産

水 産——本市ニ於ケル昭和二年末水産業戶數七二六戶人員二、〇〇五人ニシテ一年ノ産額澁海苔一二四、八〇〇圓鰯三九、九九〇圓黑鯛七〇、〇〇〇圓鰯五九、五三〇圓牡蠣四七、三二〇圓其他二七四、〇四五圓計六一五、六八五圓ナリ

大正十二年六月市水産會ヲ設立シ水産業ノ向上發達ニ努力中ナリ

漁 業 戶 口	區 別	戶 數	漁 業 者		
			漁 男	漁 女	者 計
漁 業 戶 口	本 業	380	561	267	828
	副 業	346	672	505	1.177
漁 獲 物	魚 類	貝 類	其 他	計	
	221.955	252.150	16.780	490.885	
水 産 製 造 物	種 別	數 量	價 額		
	澁 海 苔		7.800	124.800	
	春 黑 鯛		15.000	30.000	
	蒲 鉾 其 他		70.098	210.484	

交 通

道 路——道路ハ昭和二年末ニ於テ延長九〇里九町五間(九九、一七三米)其ノ面積三一五、九八三坪(一、〇四〇、二六二平方米)ニシテ内國道ハ一里一九町一三間(六、〇二三米)(一二、二八四坪)(四〇、六〇八平方米)縣道ハ三里二一町三四間(六、二八〇米)(三五、七八五坪)(一一八、二九八平方米)其ノ他ハ市道ナリ

國道ハ本市ノ中央ヲ東西ニ貫通シ縣道ハ南北ニ二線相通セリ

橋 梁——桥梁ハ鐵橋六鐵筋混凝土六木橋一二木及鐵筋混凝土混合橋一ニ

シテ延長ノ最モ長キハ御幸橋ノ一四間(二〇七米)ニシテ常磐橋ノ九四間(一七一米)之ニ次グ而シテ其ノ幅員ハ五間五分(一〇米)乃至二間三分(五米)ナリ

鐵道——鐵道ハ市ノ北端ヲ東西ニ通過セリ而シテ糸崎驛ヨリ廣島驛ニ開通セシハ明治二十七年六月ニシテ廣島徳山間ハ明治三十年九月ノ開通ニ係レリ廣島驛ヨリ吳ニ通ズル線ハ明治三十年十二月ノ開通ニシテ距離一六哩(二六軒)字品線ハ明治二十七年八月ノ開通ニシテ其ノ距離僅ニ三哩(五軒)餘ナリ藝備鐵道ハ本市ノ東端ヨリ安藝、安佐、高田、双三ノ四郡ヲ經テ比婆郡庄原町ニ通ズ距離五五哩八分(九〇軒)ヲ有シ大正十二年十二月開通セリ廣島、横川、己斐、東廣島ノ各驛ニ於ケル昭和二年中ノ乗客數ハ二、七七三、九〇四人降客二、九二二、三〇四人ニシテ平均一日乗客七、五九三人降客八、〇〇六人ナリ

軌道——軌道ハ明治四十二年六月廣島瓦斯電軌株式會社ヲ創設シ大正元年十一月開通セリ其ノ延長ハ八哩二四三(一三軒餘)ニシテ停留所四一箇所車輛九〇輛本年乗客二三、八七六、〇四八人ニシテ平均一日六八、一五四人ナリ大正十五年七月ヨリ宮島ニ至ル電車軌道ヲ開通セリ

船舶——(字品入港船舶)——字品港ハ本市南端ニ突出セル築港ニシテ明治十七年起工シ同二十二年竣工セリ昭和二年中ニ於ケル字品入港船舶ハ九七、二八一艘ナリ

棧橋——(通行人員)——棧橋通行人員ハ乗船一七〇、三二八人上陸一五七、〇八二人ナリ

本市ハ太田川ノ下流ニ位シ太田川ハ六派ニ分レテ市内ヲ貫流スルガ故ニ水源地方及廣島灣ヨリ出入スル貨物ノ輸送至便ナリ

宿屋	旅人宿	下宿屋	旅人宿泊人員	一日平均泊人員
	350	236	211.544	579

字品港入港船舶	區別	汽船		帆船		計		
		船數	登簿噸數	船數	登簿噸數	船數	登簿噸數	
貨客船		17.520	1.618.979	77.961	1.480.656	95.481	3.099.635	
漁船		—	—	1.800	3.600	1.800	3.600	
避難船		—	—	—	—	—	—	
計		17.520	1.618.979	79.761	1.484.256	97.281	3.103.235	
汽船乗降客	乘客		降客					
	170.328		157.082					
鐵道	廣島驛	2.004.090				2.176.215		
	横川驛	123.131				100.610		
	己斐驛	461.908				470.842		
	東廣島驛	184.775				174.637		
電車	電車數	乗客數	賃金	運轉哩數				
	90	23.876.048	1.160.315	2.274.457				
諸車	自動車	自轉車	人力車	荷車	荷馬車	其他	計	
	198	24.599	470	7.545	379	2	33.193	
郵便局	電取	信局	公衆電報取	電話局	電話交換局	電話通話局	公衆電話	郵便函
	29	1	8	—	1	5	21	261 (私) 10
郵便	通常郵便物	區別	普通	書留	價格表記	計		
	引配	受達	45.754.583	560.700	17.772	46.333.059		
郵便	小包郵便物	區別	普通	書留	價格表記	計		
	引配	受達	342.393	210.909	—	553.305		
郵便	廣告郵便物引受		集金郵便物引受		集金郵便物配達			
	—		43.589		31.484			

電 信	電 報 發 着	區 別	內 國	外 國	計
		發 信 着 信	620,681	2,602	623,283
電 話	電話加入者 及電話機	加入者	電 話 機	計	
		4,710	4,726	870	21

市會議員職員財政

議員、委員

議 員	區 別	議 員	選 舉 有 權 者
	衆 議 院	3	37,988
	縣 會	11	35,369
市 會	35	25,414	
學 務 委 員	6		
士 委 員	6		
都 市 計 畫 調 查 機 關	7		
市 營 事 業 臨 時 調 查 委 員	14		
功 勞 者 調 查 委 員	8		
其 他	32		
計			73

市吏員

市 長	助 役	收 入 役	主 事	技 師	視 學	市 醫	
1	2	1	9	8	2	4	
獸 醫	調 劑 員	書 記	書 記 補	技 手	技 手 補	機 關 手	機 關 手 補
2	1	151	18	34	6	4	—
掃 除 監 督 長	掃 除 監 督	掃 除 巡 視	守 衛	其 ノ 他	計		
兼	1	2	18	4	73	340	

財 政

市 普 通 經 濟	年 次	歲 入	歲 出			一 戶 平 均 額		一 人 平 均 額	
			經 常 部	臨 時 部	計	歲 入	歲 出	歲 入	歲 出
大正十四年度	5,666,627	2,336,150	1,879,492	4,215,642	124,265	92,446	30,308	22,555	
昭和元年度	6,470,581	2,597,687	2,534,059	5,131,746	125,336	99,418	31,442	24,942	
昭和二年度	6,213,683	2,504,796	3,135,150	5,639,946	120,350	109,240	30,190	27,400	

市 費 歲 入	年 次	財 產 ヨ リ 生 ズ ル 收 入	使 用 料 及 手 數 料	雜 收 入	前 年 度 繰 越 金	補 助 金	市 稅	其 他	計	
		大正十四年度	21,073	225,886	111,645	1,461,138	24,479	2,177,982	151,123	4,173,326
		昭和元年度	20,388	236,025	107,219	1,151,422	8,043	2,575,228	1,437,057	5,535,382
		昭和二年度	19,547	737,996	123,161	1,338,834	97,685	2,555,054	1,341,408	6,213,685

市 費 歲 出	年 次	役 所 費	土 木 費	衛 生 費	教 育 費	勸 業 費	其 他	計	
		大正十四年度	291,425	89,822	135,900	1,068,883	22,353	1,413,521	3,021,904
		昭和元年度	325,664	226,642	193,866	920,272	17,069	2,570,568	4,254,081
		昭和二年度	381,674	358,985	1,828	1,117,909	26,125	3,716,204	5,602,675

諸 稅 負 擔	區 別	稅 額	現 在 戶 數 一 戶 =	付	現 在 人 口 一 人 =	付
	國 稅	4,657,966		88,314	22,004	
	市 稅	2,555,054		48,443	12,070	
計		7,213,020		136,757	34,074	

市 債	舊 債 償 還 ノ タ メ	下 水 道 費 ト シ テ	其 他	計
	960,032	709,196	1,400,285	3,069,513

市 有 財 產	10,698,643
部 落 有 財 產	308,862

官 公 衙

廣 島 縣 廳	水主町	廣 島 刑 務 所	吉 島 町
廣 島 縣 會 議 事 堂	水主町	廣 島 營 林 署	八 丁 堀
廣 島 健 康 保 險 署	蟹屋町	廣 島 遞 信 局	大 手 町
廣 島 地 方 專 賣 局	皆實町	廣 島 郵 便 局	丁 目
神 戶 稅 關 廣 島 出 張 所	宇品町	宇 品 郵 便 局	細 工 町
廣 島 市 設 保 稅 地 域	宇品町	廣 島 鐵 道 郵 便 局	宇 品 町
廣 島 稅 務 監 督 局	八丁堀	廣 島 驛 前 郵 便 局	大 須 賀 町
廣 島 稅 務 署	八丁堀	鐵 道 省 廣 島 驛	大 須 賀 町
廣 島 縣 立 工 業 試 驗 場	東白鳥町	鐵 道 省 宇 品 驛	宇 品 町
廣 島 縣 釀 造 試 驗 所	東白鳥町	門 司 鐵 道 局 廣 島 保 線 事 務 所	大 須 賀 町
第 五 師 團 司 令 部	基 町	西 警 察 署	大 手 町
步 兵 第 九 旅 團 司 令 部	基 町	東 警 察 署	一 丁 目
廣 島 聯 隊 區 司 令 部	基 町	宇 品 警 察 署	京 橋 町
步 兵 第 十 一 聯 隊	基 町	廣 島 水 上 警 察 署	宇 品 町
騎 兵 第 五 聯 隊	大須賀町	廣 島 測 候 所	千 田 町
野 砲 兵 第 五 聯 隊	基 町	廣 島 縣 立 商 品 陳 列 所	猿 樂 町
工 兵 第 五 大 隊	白鳥北町	廣 島 市 應 所	國 泰 寺 町
輜 重 兵 第 五 大 隊	基 町	同 宇 品 出 張 所	宇 品 町
電 信 第 二 聯 隊	皆實町	同 水 道 水 源 地	安 藝 郡 牛 田 村
第 五 師 團 兵 器 部	基 町	東 隣 保 館	尾 長 町
廣 島 陸 軍 兵 器 支 廠	皆實町	西 隣 保 館	福 島 町
宇 品 陸 軍 糧 秣 支 廠	宇品町	廣 島 市 居 場	福 島 町
廣 島 陸 軍 被 服 支 廠	皆實町	廣 島 市 常 設 家 畜 市 場	福 島 町
廣 島 衛 戍 兵 隊	基 町	廣 島 市 公 會 堂	國 泰 寺 町
廣 島 憲 兵 分 隊	基 町	廣 島 棧 橋	宇 品 町
同 宇 品 分 遣 所	宇品町	衛 生 試 驗 所	船 入 町
陸 軍 運 輸 部	宇品町	廣 島 商 工 會 議 所	猿 樂 町
廣 島 控 訴 院	小 町	帝 國 在 鄉 軍 人 會 廣 島 市 分 會 社	市 廳 內
廣 島 地 方 裁 判 所	三 川 町	廣 島 借 行 社	基 町
廣 島 區 裁 判 所	三 川 町	日 本 赤 十 字 社 廣 島 支 部	千 田 町
		愛 國 婦 人 會 廣 島 支 部	千 田 町

日 本 海 員 披 濟 會	縣 廳 內	廣 島 保 護 院	千 田 町
帝 國 水 難 救 濟 會	宇 品 町	廣 島 修 養 院	尾 長 町
帝 國 水 難 救 濟 會 廣 島 支 部	縣 廳 內	廣 島 養 老 院	廣 瀨 町
廣 島 社 會 協 會	縣 廳 內	廣 島 縣 海 外 協 會	廣 島 縣 廳 內
廣 島 聯 合 保 護 會	廣 島 刑 務 所 內	福 島 町 民 一 致 協 會	福 島 町
廣 島 修 道 院	大 須 賀 町	樂 石 社 廣 島 支 部	田 中 町
廣 島 育 兒 院	尾 長 町	廣 島 放 送 局	上 流 川 町

保 險

大 阪 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 代 理 店	石 見 屋 町	三 菱 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	鹽 屋 町
大 倉 組 保 險 部	廣 島 駐 在 所	八 丁 堀	富 國 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	大 手 町 二 丁 目
神 戶 海 上 運 送 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	國 泰 寺 町	太 平 洋 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	天 神 町
橫 濱 火 災 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	猿 樂 町	日 本 動 產 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	國 泰 寺 町
第 一 火 災 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	機 町	日 本 簡 易 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	機 町
太 平 火 災 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	八 丁 堀	日 本 共 立 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	鹽 屋 町
大 北 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	蟹 屋 町	東 京 動 產 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	中 町
大 洋 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 代 理 店	段 原 町	日 本 生 命 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 店	大 手 町 二 丁 目
大 正 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	大 手 町 一 丁 目	日 清 生 命 保 險 株 式 會 社	中 國 支 社	大 手 町 四 丁 目
大 福 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	山 口 町	日 本 徵 兵 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	播 磨 屋 町
福 壽 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	水 主 町	日 本 共 立 生 命 保 險 株 式 會 社	中 國 支 部	堀 川 町
帝 國 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 店	天 神 町	日 本 醫 師 共 濟 生 命 保 險 相 互 會 社	廣 島 支 部	南 竹 屋 町
帝 國 海 上 運 送 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	西 白 鳥 町	日 華 生 命 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	大 手 町 四 丁 目
共 同 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 駐 在 所	鹽 屋 町	仁 壽 生 命 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	大 手 町 三 丁 目
京 都 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	天 神 町	蓬 萊 生 命 保 險 相 互 會 社	廣 島 支 部	上 流 川 町
朝 日 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	水 主 町	東 洋 生 命 保 險 株 式 會 社	中 國 支 部	猿 樂 町
明 治 火 災 保 險 株 式 會 社	廣 島 代 理 店	斜 屋 町	東 海 生 命 保 險 相 互 會 社	廣 島 支 部	播 磨 屋 町
新 日 本 火 災 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	八 丁 堀	東 華 生 命 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	中 町
中 外 火 災 海 上 保 險 株 式 會 社	廣 島 出 張 所	宇 品 町	常 磐 生 命 保 險 株 式 會 社	廣 島 支 部	研 屋 町

千代田生命保險相互會社廣島支部	大手町二丁目	富士生命保險株式會社中國支社	平田屋町
中央生命保險相互會社廣島支部	紙屋町	福德生命保險株式會社中國支部	山口町
片倉生命保險株式會社中國支社	大手町二丁目	壽生命保險株式會社廣島支部	銀山町
横濱生命保險株式會社廣島支店	猿樂町	國光生命保險相互會社廣島支部	細工町
太陽生命保險株式會社廣島支部	八丁堀	帝國生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目
大同生命保險株式會社中國支店	紙屋町	愛國生命保險株式會社中國支部	大手町四丁目
太平生命保險株式會社廣島支部	斜屋町	共保生命保險株式會社廣島支店	袋町
大安生命保險株式會社廣島支社	大手町三丁目	共濟生命保險株式會社廣島支店	革屋町
大正生命保險株式會社廣島支社	轆町	有隣生命保險株式會社中國支部	堀川町
第一徵兵保險株式會社廣島支店	上流川町	明治生命保險株式會社廣島出張所	大手町三丁目
第一生命保險相互會社廣島支部	紙屋町	三井生命保險株式會社廣島支店	紙屋町
八千代生命保險株式會社中國支社	東魚屋町	住友生命保險株式會社廣島支部	猿猴橋町
福壽生命保險株式會社廣島支部	西魚屋町	國華徵兵保險株式會社廣島支部	細工町

聞社

藝備日日新聞社	大手町二丁目	廣島日日新聞社	八丁堀
中國新聞社	上流川町	吳日日新聞社廣島支局	尾道町
廣島每日新聞社	尾道町	廣島新聞社	銀山町
大阪朝日新聞社廣島通信局	研屋町	廣島日報社	中町
大阪毎日新聞社廣島支局	紙屋町	關門日日新聞社廣島支局	大手町七丁目
大阪時事新報社廣島支局	天神町	中國國民報社	大手町四丁目
山陽新報社廣島支局	大手町八丁目		

名所舊蹟

廣島城址——天正年間國守毛利輝元此地ヲ相シ、黒田孝高ノ設計ニ遵ヒ家臣二宮就辰ヲ奉行トシテ天正十七年經始シ、文祿二年エヲ竣レリ慶長五年毛利氏封ヲ長門周防ニ徙サル、ヤ福島正則之ニ移リ、後元和五年淺野長晟紀州ヨリ入ツテ安藝ノ全部並ニ備後ノ八郡ヲ領シ傳ヘテ十二代長勳ニ至ル淺野氏ノ此ノ城ニアリテ治スル事實ニ二百五十有餘年ナリ、明治四年ニ至リ鎮西鎮臺第一分營ヲ此地ニ置カレ、現在ノ第五師團司令部是レナリ而シテ其後破却或ハ燒失シテ舊態ヲ失ヒ依然トシテ存スルモノハ僅カニ天主閣ト内壕トニ過ギズ、天主閣ハ五層ニシテ高サ十七間五尺(三三米)基礎東西十二間(二二米)、南北九間(一六米)アリ、巍然トシテ高ク雲間ニ聳ヘ、甚ダ壯觀ヲ呈ス此城ハ別ニ鯉城ト呼ビ又秦磨城ト稱セリ昭和三年十月ヨリ一般觀覽ヲ許サル

大本營跡——舊廣島城内本丸趾ニアリ元、第五師團司令部ナリシガ明治二十七年清國ト干戈ヲ交ユルヤ同年九月十五日、畏クモ明治大帝大轟フ此地ニ進メサセ給ヒ、同所ヲ行在所ニ充テサセラレ翌年四月二十七日マデ萬機ヲ此所ニ統ベサセ給ヒシ遺跡ニシテ實ニ千古不磨ノ一大記念ト謂フベシ、今ヤ縣廳ノ管理ニ屬シ嚴重ナル警護ノ下ニ行宮嚴然當時ノ様ヲ保存シ衆庶ノ拜觀ヲ請フ者常ニ絶エズ

舊御便殿——廣島市ノ東部比治山ノ北部ニ位シ明治二十七八年戰役ノ際大轟ヲ廣島ニ進メ給ヒ第七回臨時帝國議會ヲ召集シ廣島西練兵場内ニ假議事堂ヲ建設セラレ其ノ奥ニ御便殿ノ設ケアリシガ最モ粗造ニシテ棟十四間(二五米)梁五間(九米)ニシテ中央玉座ノアル處ハ僅カニ四十疊(六六平方米)ニ過ギザリキ議會閉會ト共ニ建物不用ニ屬シタルヲ以テ此御便殿ハ本市ノ一大記念トシテ明治三十二年七月廣島市會ノ決議ニヨリ拂下ヲ受ケ後比治山公園ノ新設ト相俟テ同四十一年エヲ起シ同四十二年エヲ竣ヘタリ其ノ構造ハ宮殿型ニシテ最モ壯嚴ヲ極メ棟十八間(三三米)梁七間(一三米)ニ

シテ御便殿ヲ其ノ内ニ移シ以テ永遠不朽ヲ圖レリ庶民ハ洪大無疆ノ聖徳ヲ
 偲ビ參拜スル者常ニ絶ヘズ

大正元年九月明治天皇御大葬儀ニ付青山葬場殿ニ御使用セラレタルモノノ
 内第二神門、眞榊、鏡、提燈、黄白旗ヲ同二年三月二十五日東京市ヨリ譲
 リ受ケ眞榊ハ柵内ニ植ヘ御神門ハ御便殿前ノ廣場ヘ建設シ其ノ他ハ祭日等
 ニ配列シ一般ニ拜觀セシムルコト、シテ層神殿ヲ極メリ

饒津神社——二葉山ノ麓ニアリ舊廣島藩主淺野家ノ太祖贈從三位彈正少弼
 淺野長政夫妻贈從三位淺野幸長、贈從三位長晟ヲ祀リ敷地約六千六百餘坪
 (二一、八一八平方米)ヲ有シ社殿ハ天保六年從四位上少將安藝守齊肅祖先
 追孝ノ爲メ造營セラレタルモノニシテ結構宏壯ナリ西ハ神田川ノ清流ニ臨
 ミ背後ハ綠樹鬱蒼タル二葉山ヲ負ヒ頗ル雅致ニ富ム明治五年二月縣社ニ列
 セラル

東照宮——尾長山ノ中腹ニアリ正保年中舊藩主淺野光晟ノ創建セル所ニ
 シテ徳川家康公ノ靈ヲ祀ル境域千五百九十餘坪(五、二五六平方米)アリ社
 殿ハ南方ニ向ヒ石階五十一級アリ往時ハ結構壯麗ヲ極メ祭儀盛大ナリキ同
 境内ハ土地閑靜且ツ老松鬱蒼タルアリ石階ノ下參道ノ兩側ニ櫻ノ並木及藤
 ノ柵アリ暮春ノ候ニ至ラバ紫總恰モ纓絡ノ如ク又賞遊ヲ試ムルニ足ランカ

國泰寺——小町白神社ノ東隣ニアリ曹洞宗ニシテ僧惠瓊ノ開基ニ係リ文
 祿年間朝鮮木ヲ以テ諸堂ヲ建立ス後年三回ノ祝融ニ會ヒ舊時ノ觀ナシト雖
 モ堂宇壯大ニシテ境内ニ豊國神社アリ豊公遺髮ノ塔及赤穂義士大石良雄ノ
 室石束氏及同三男大三郎ノ墓アリ香煙常ニ絶ユルコトナク殊ニ近時市内有
 志ノ發企ニテ赤穂義士追遠塔ヲ建設アリ當寺ハ淺野家ノ菩提寺タリ寺後ニ
 淺野氏數代ノ墓墳アリ塋域幽閑櫻樹多ク又數百年ヲ經タル老樟ノ鬱蒼タル
 アリ

明星院——二葉ノ里ノ一隅饒津神社ノ東南ニアリ眞言宗月光山大日寺ト
 號ス天正十七年毛利輝元ノ建立ニシテ本尊ハ千手觀音ナリ慶長五年榮鏡法

印中興セリ往時此處ニ大伽藍アリ淺野氏ノ祈願所ナリシモ維新後頓ニ廢頽
 シ明治三十五年廣島人八木新兵衛自カラ資ヲ投ジテ堂宇ヲ再建シ稍々舊觀
 ニ復シ境内櫻樹多シ又赤穂浪士四十七義士ノ木像ヲモ安置セリ

誓願寺——材木町ニアリ淨土宗紫雲山光照院ト稱ス惠空上人ノ開基ナリ
 抑モ建立當時ノ由緒ヲ尋ヌルニ天正九年ノ頃毛利輝元京都本山誓願寺ノ住
 職惠空上人ニ歸依シ當國高田郡吉田ノ邑ニ居住セシム同十七年廣島城建築
 ノ時扈從シテ當廣島ニ來リ當寺ヲ開創シ翌十八年十月本堂落成ス時ニ正親
 町天皇ノ勅詔ニ依リテ本山誓願寺ニ傳來スル處ノ天智天皇御宸筆寺號ノ額
 ヲ賜ハリタリ而シテ現在ノ本堂ハ元祿元年五月當寺第九世辨空上人ノ再建
 スル所ニシテ堂宇壯大、境域三千餘坪(九、九一七平方米)ヲ算シ境内ニ小
 池アリ池畔ニ嚴島神社ヲ勸請シ毎年嚴島神社管絃祭當日ハ參拜者多ク殷賑
 ヲ極ム

本派本願寺廣島別院——寺町ニアリ市内唯一ノ大伽藍ニシテ長祿三年甲
 斐國ノ住人僧正信ノ創建ニ係リ當時佛護庵ト稱シ天台宗ナリシモ後龍原山
 佛護寺ト改ム明應五年眞宗ニ改メ安藝國小本山ノ別名アリ明治三十五年十
 一月本派本願寺廣島別院トシ同時ニ堂宇ヲ改築セリ

國前寺——尾長町尾長山ノ麓ニアリ日蓮宗自昌山龍華樹院ト號シ曆應三
 年僧日像ノ開基ニシテ本尊ハ久遠本師釋迦牟尼佛ナリ往古曉忍阿闍梨ノ庵
 ニシテ曉忍寺ト稱セシモ明曆三年國前寺ト改ム門前ニ日像船繫松アリ

泉邸——上流川町ニアリ元和五年淺野長晟入國ノ翌年此地ニ邸第ヲ營
 ミテ庭園ヲ修メ爾後世々ノ國守其ノ庭池ヲ擴メテ修理ヲ加ヘ二百七十餘年
 ヲ經テ以テ今ノ淺野長動ニ至レリ園庭ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮
 景園ト號ス、廣サ四丁(三九、六六九平方米)、太田川ヲ挾ミ斜ニ二葉山、
 向陽山ト相對シ岸ニ閘門ヲ設ケテ河水ヲ泉池ニ引ク中ニ池アリ、小島絶壁
 アリ溪アリ湍アリ自ラ自ラ深山ノ景趣ヲ備フ庭内清風館ハ座シテ全景ヲ望
 ムベク景致多趣ノ名園タリ明治二十七年車駕行幸アリ構内ニ淺野家ノ家寶

ヲ陳列シ一般ニ觀覽セシムベキ觀古館ノ建物アリ

比治山公園——市内段原町ニアリ、山容恰モ虎ノ臥シタルガ如ク臥虎山ノ稱アリ山高カラズト雖樹木鬱蒼シ楓躑躅ニ富ミ山嶺ノ眺望亦佳絶ニシテ四時杖ヲ曳ク者多シ殊ニ山頂ヨリ西面スレバ市街ノ約八分ヲ俯瞰シ南面スレバ宇品港ヲ眼下ニ集メ更ニ右スレバ江波ノ漁村ヲ望ミ遙カニ廣島灣ノ風光ヲ賞スベシ往昔老松ノ間ニ白鶴ノ棲メルヲ見シト聞ケド今ハ全く其ノ姿ヲ見ズ

江波山公園——市街ノ西南端ニアリ三方繞ラスニ海ヲ以テシ山上望海風景ノ雄大ナルハ筆紙ニ盡シ難ク北ハ市内ノ全景ヲ双眸ニ集メ東ハ宇品港及比治山ヲ眺メ西ニ已斐、草津、嚴島ハ指呼ノ間ニ點綴ス、安藝ノ小富士ノ佳景ヲ望ムガ如キハ眞ニ天下ノ絶景ト稱スベシ

大内越道——本市ヨリ中山、馬木、福田等ヘ往來スル山路ニシテ昔府中村ノ城主白井備中ヲ大内義隆ガ攻メシ時此ニ砦ヲ置キ且戰路トシタルガ故名トス

三本松——猿猴橋ノ東尾長町國道筋ノ南側ニアリ豊太閣朝鮮征伐ノ際多クノ松樹ヲ栽エシモノ後三本ノミ殘リシヲ以テ此ノ名アリト傳フ往時藩主ノ參觀交代アルヤ當地留守居ノ諸士此處ニ於テ送迎セリト

太宰原天満宮——二葉ノ里ニアリ太宰原ノ起原ハ菅公筑紫ニ左遷ノ砌リ船ヲ此處ニ寄セテ憩ハセ給ヒ其ノ後太宰府ヘ遷ラレタルヲ以テ其ノ名アリト且ツ同所ニ當時菅公ノ植エラレタル梅樹アリ長ジテ花開キ實ヲ結ブニ至リ里人其ノ實ヲ採リテ食フニ苦クシテ食フ能ハズ爾後之ヲ拾ハントスルモノナシト其ノ後此ノ實ヲ植栽シテ僅カニ其ノ一本ヲ殘セルガ今社殿ノ背後ニアルモノナリト傳フ、又同所ニ菅公ノ腰掛石トモ云フモノアリ現在ノ祠ハ此上ニ建立セラレアリ

新・天地——大正十年九月堀川町ニ活動寫眞常設館、劇場、娛樂場、賣店等ヲ經營シ以テ新天地ト稱セリ此地タルヤ日夜歡樂ノ人出多ク常ニ股賑ヲ

極ム

宇品山——宇品山國有林ハ宇品島ノ大部分ヲ占メ面積二十五ヘクタールニシテ暖帶固有植物ヲ藏スルコト地方稀ニ見ル所ナルノミナラズ老樹巨木鬱々トシテ貴重ナル林相ヲ成セリ從來航行目標學術考試保護林トシテ禁伐保護ヲ加ヘ來リシガ政府ハ民衆保健ノ増進ヲ圖リ且ツ學究ノ便ニ資セントノ趣旨ヲ以テ大正十五年甫メテ之ヲ公開シ新ニ步道ヲ拓キ或ハベンチ休憩所ヲ設クル等一般ノ散策行樂ニ任ゼリ一度此ノ山ニ來遊センカ瀬戸内海ノ風光一瞬ノ裡ニ集リ畫向暗キ大樟樹林ハ珍草奇木ヲ蔽ヒテ徐ロニ原始林ノ感ヲ生ゼシム其ノ名植物ニ名稱性状用途ノ標札ヲ附セル蓋シ其ノ用意ノ周到ナルヲ見ル昭和三年一月十三日農林省告示第三號ヲ以テ保安林ヲ解除セラル

廣島縣廳——明治十一年水主町ニ建築シタルモノニシテ構内廣ク縣會議事堂アリ武徳殿及廣島縣立病院相隣シ名園與樂園ハ其裏ニ續キ春季最モヨシ

廣島市廳——中島新町ニアリシガ狹隘ノ爲メ國泰寺町ニ宏壯ナル廳舎ヲ新築シ昭和三年四月移轉セリ

廣島縣立商品陳列所——元安川相生橋畔(セセツション式)ノ宏壯洋館ハ大正四年五月ニ新築セルモノナリ館内ニ縣下物産ヲ蒐集陳列シ各地物産及外國品ヲモ陳列シテ一般ノ參考觀覽ニ供シ商品ノ取引斡旋ヲ計リ商工業界ヲ指導シ館内ニ圖書室ヲ設ケ商品カタログヲ集メ以テ其ノ便ヲ計レリ

廣島商工會議所——明治二十四年一月中島新町ニ創立シタルシガ明治四十一年一月猿樂町ニ新築移轉セリ初メハ廣島商業會議所ト稱セシガ昭和三年一月一日ヨリ廣島商工會議所ト改稱ス然シテ時勢ノ進運ニ伴ヒ商工業者ヲ指導誘掖シ地方實業界ノ爲メニ努力シ種々ノ施設ハ將來大ナル發展ヲ見ルナラン

廣島市屠場——福島町ニアリ廣島市ノ經營ニ係リ規模宏大ニシテ大正三年煉瓦石造建築物トナシ諸設備ハ獨逸製機械器具ヲ採用シタル最新式全國唯

一ノ屠場タリ

廣島市常設家畜市場——福島町西堤防山手河畔ニアリ大正三年一月ノ開場ニシテ廣島市ノ經營ニ係リ毎日市場ヲ開キ家畜ノ改良集散ニ便セリ

上水道水源池——安藝郡牛田村ニアリ明治三十一年八月通水式ヲ舉ゲ其後二回ノ擴張工事ヲ行ヒ面積二九、六九〇餘坪(九八、一四九平方米)トナリ沈澱池、砂溜池、量水池、取水送水唧筒室等ヲ設備シ其ノ通水狀況ハ全國水道中優良ナル成績ヲ示セリ

廣島高等師範學校——千田町ニアリ明治三十五年ノ開校ニシテ文科、理科、教育科ニ分ツ構内ニ附屬中學校、同小學校、圖書館アリ又同校南隣ニ博物館ヲ併置セリ

廣島高等工業學校——千田町ニアリ電氣、應用化學、機械ノ三科ニシテ嶄新ナル設備ヲナス

廣島高等學校——皆實町ニアリ文科、理科ニ分チ規模頗ル大ナリ

宇品港——本市南端ニアリ港内水深ク且ツ暴風波ノ害ヲ受クル事ナク常ニ巨艦、大船ノ出入繁ク中國航路ノ要衝ニシテ又大連航路ノ寄港地タリ吳軍港、及ビ巖島ハ指呼ノ間ニアリテ數多ノ島嶼亦點在シ風景絶佳ナリ此地タルヤ明治十七年縣令千田貞曉ノ發起ニヨリ同二十二年十一月六二八、一〇二坪(二、〇七六、四四二平方米)ヲ埋立竣工シタルモノニシテ明治二十七八年、同三十三年、同三十七八年、大正三年等ノ戰亂ニ際シ軍隊糧食ノ輸送港トシテ大ナル利便ヲ與ヘタル良港ナリ

千田男爵銅像——宇品町ニアリ縣令千田貞曉宇品築港ニカヲ盡シ以テ竣工ナリタルガ故ニ此レヲ記念スベク大正四年十一月建設セシモノナリ

廣島驛——本市ノ東部大須賀町ニアリ明治二十七年六月十日開通建築シ粗造ノモノナリシガ大正十一年改築シ内外共ニ美觀ヲ呈シタル中國ノ一大停車場トナレリ

紙屋町電車交叉點附近——本市ノ中央部ニ位シ市内ノ電車ハ此地ヲ基點

トシ東ハ廣島驛西ハ横川驛及己斐驛南ハ宇品港ニ通ズル交通ノ要點タリ常ニ自動車及人馬ノ往復多ク殷賑ヲ極ム

第一軍戰死者記念碑——西練兵場ノ一隅ニアリ碑身ハ砲彈ニ擬シ高サ三十六尺七寸五分(一一米)、明治二十七八年戰役ノ戰死者七二六名ノ爲メ明治三十三年ニ建設セルモノナリ

本川橋——中島本町ヨリ塚本町ニ架セルモノニシテ天正年間加藤兼鎮(通稱ヲ猫屋九郎左衛門)之ヲ架設シタルヲ以テ猫屋橋ト稱セリ明治三十年長サ四十間(七三米)、幅四間(七米)ノ鐵橋ニ改築ス同橋ノ下流東岸堤防上ニハ櫻樹ヲ植エ花時夜間ニハ提燈ヲ吊ス俗ニ東本川ノ櫻ト稱シテ當市ニ於ケル一美觀タリ

元安橋——市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル鐵橋ニシテ工費七二、〇〇〇圓ヲ要シ體裁優美堅牢ナリ附近一體ハ市ノ中央ニ位シ商賈軒ヲ列ネ車馬絡繹ルガ如ク此地ヲ里程元標トセリ

名物及物産

牡蠣——牡蠣ハ古來本市ノ特産品ニシテ其ノ品種他地方ノ物ニ比シ肉肥大風味美ナルヲ以テ名アリ本市江波町及ビ本市ニ隣接セル安藝郡仁保村佐伯郡草津町沖ニ養殖シ且ツ同地住民ハ冬季舟ヲ遠ク大阪及ビ下關方面ニ艤シテ種々牡蠣料理ヲ營業セルヲ以テ牡蠣船ノ名聲高シ尙牡蠣罐詰牡蠣ニキストシテ廣ク全國ニ移出セリ本市一ケ年ノ産額四七、三二〇圓ヲ算セリ

海苔——海苔モ亦牡蠣ト同ジク江波町、安藝郡仁保村沖ニ盛ニ養殖シ寒氣凛烈ノ候ニ採取シ之ヲ漉海苔トナシテ九州、大阪、京都其他各地方ニ移出ス其ノ産額一ケ年一二四、八〇〇圓ヲ超ヘ名聲アリ

柿——生柿ハ主トシテ市ノ北部ナル安佐郡地方ニ於テ産出セルモノヲ本市ニテ乾柿ト爲シ東京、大阪、九州其他廣ク全國ニ移出セラル形美濃柿ニ似

テ稍太ク味最モ美ナリ近來のし柿、柿羊羹等ヲ製ス

鮎——鮎ハ北郡部ヨリ流レテ本市ヲ圍繞セル太田川ニ棲息セルモノヲ漁獲スルモノニシテ生魚ノ外乾鮎、小判漬、糟漬、鮎うるか等トナシ各地ニ移出セリ

廣島菜——廣島菜ハ本市特有ノ農産物ニシテ實ニ三百年來ノ歴史ヲ有シ其名天下ニ洽ク京菜又ハ平莖ト云フ蓋シ其ノ初メ京都ヨリ到來シタルノ故ヲ以テ京菜ト稱シ莖ノ扁平ナルヲ以テ一名平莖ト名ケシモノナルベシ廣島ニ於テハ主トシテ京菜ト謂ヒ京都ニテハ之ヲ廣島菜ト唱フ其ノ特長ハ葉柔軟ニシテ纖維少ク殊ニ漬物トシテ香氣最モ嗜好ニ適シ永ク貯藏ニ耐ヘ風味ヲ損セザルニ因ル

白魚——白魚ハ本市ヲ洗フ太田川ノ下流ニテ漁獲セラル、モノニシテ生及ビ罐詰トシテ各地ニ移出セラル

罐詰——本市ニ於ケル罐詰ハ明治十三年ノ製造ヲ初メトシ爾來星霜ヲ重スルニ從ヒ幾多ノ改良ヲ加ヘ遂ニ優良ナル製品ヲ作り各地ニ輸輸出スルニ至レリ其種類ハ牛肉ヲ主トシ蔬菜類、魚貝及海苔、果實等ニシテ一ケ年ノ産額約二、五九七、六九四圓ニ達ス

足袋——足袋モ亦古キ歴史ヲ有スレドモ明治二十年頃ヨリ漸ク發達ノ曙光ヲ顯シ逐年改良益々發達シ莫大小足袋、護謨底、信州底等ノ地下足袋ノ製造ヲ見ルニ至リ製品ハ各地ニ輸出セラレツ、アリテ一ケ年ノ産額四四三、八〇〇圓餘ヲ示セリ

染手拭——形染ハ往昔ヨリ盛ニ行ハレ明治初年箱轆ヲ發明セシ以來一時ニ多數ノ生産ヲナシ得ルニ至リ且ツ染模様鮮明トナリシヲ以テ廣島染ノ名頓ニ昇リ全國ニ移出スルニ至レリ一ケ年ノ産額六六二、四〇〇圓ニ達セリ

晒木綿及染地類——晒木綿及染地類ハ文政年間本市新川場町大和屋文五郎ナルモノ木綿織物業ヲ開始シ漸次隆盛ニ越キ現今ニ於テハ一ケ年ノ産額八八七、五六〇圓ニシテ山口、島根ノ近縣ニ移出ス

箆 筍——箆筍ハ寛永五年二宮太郎右衛門ト云フ者今ノ安佐郡福木村ヨリ來リ那波屋彦右衛門ト改名シ本業ヲ開始セリ明治維新前後ハ前桐二重箆筍ヲ以テ最上等品トセシガ漸次黒柿、桑、樺或ハ唐木等ヲ混用シテ上等品ノ製作ヲ見ルニ至レリ斯クシテ明治四十一年本市主催ノ製産品々評會及明治四十三年名古屋市主催ノ共進會ニ出品以來一層其ノ名聲ヲ高メ一ケ年ノ産額一、一二〇、〇〇〇圓ニ達セリ

傘——傘ハ本市ニ於ケル重要物産ノ一ニシテ其ノ起源ヲ探グルニ淺野舊藩主紀ヨリ當地ニ移リシ際紀伊國若山本町(今ノ和歌山市)ニ居住セル傘屋庄右衛門及市郎右衛門ナル者同公ニ隨從シテ當地ニ來リ御傘ノ御用ヲ勤メ代々藩ノ用命ヲ蒙リ居レリ之レ當地ニ於ケル傘製造ノ根源ナリ其後二百餘年間ハ微々トシテ振ハザリシガ天保年間ニ至リ時ノ藩主大ニ獎勵ニ努メ其ノ製作品ヲ買ヒ取り之ヲ江戸ニ回送シ大ニ好評ヲ博シ漸次盛大ニ趣キ降テ慶應年間ニ至リ着色其他ニ改良ヲ加ヘ大ニ販路ヲ擴張セリ然ルニ明治二十年頃ヨリ同業者相謀リテ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シ輸入品ヲ防遏シ得ルニ至リ大ニ廣島傘ノ名聲ヲ揚ゲタリ且ツ之ガ職工ノ技倆ニ至リテハ他府縣ニ秀デタルヲ以テ彼ノ岐阜及愛媛縣ノ如キモ本市ヨリ職工ヲ雇傭シテ傳授ヲ受ケテ今日ノ盛大ヲ來セルモノナリト云フ大正十四年ニ於ケル一ケ年ノ生産額ハ五六〇、〇〇〇圓餘ニシテ其販路ハ大阪、福岡、朝鮮等ナリ

縫針——縫針ハ本市特産品ノ一ニシテ之ガ元祖トモ稱スベキハ本市中島新町朝見國造ノ祖先針元屋初五郎ナル者寛永元年長崎ニテ製針業習得歸廣ノ上製造ニ着手セシヲ本市製針業ノ嚆矢トス爾後幾星霜ヲ經テ製針業者漸次増加シ殊ニ維新以來一層販路ヲ擴張シ東京、大阪、京都地方ヲ主トシ全國ニ涉リテ名聲ヲ博シ盛況ヲ呈スルニ至ル而シテ明治二十年頃「メリケン」針ノ輸入ヲ見ルニ至リ手工製造ハ機械製造ニ轉ジ品質メリケン針ニ比肩シタレ共僅カニ内地ノ供給ニ止マリシガ歐洲戰亂ニ會ヒ斯業愈發達シ朝鮮支那及南洋ニ輸出シ一進一退昭和二年ノ産額五七八、五一八圓ヲ示セリ

建具——本市ニ於ケル建具ハ其ノ創業甚ダ古ク數百年前ニシテ明治維新前マデハ交通機關不便ノ爲メ販路狹ク市内及近郡ニ限ラレシモ明治初年以來交通ノ便開クルニ隨ヒ次第ニ販路ヲ擴張シ現今ニ於テハ愛媛、岡山、山口等ノ各縣ニ涉リ其産額一ケ年四三九、五〇〇圓ニ達セリ

紡績綿糸——紡績綿糸ノ製造ハ明治二十九年初メテ蟹屋町ニ中國紡績株式會社ト稱シテ事業ヲ開始シ後大阪合同紡績株式會社ニ讓渡シ現ニ經營シツ、アリ一ケ年ノ産額三、九六〇、〇〇〇圓ニシテ本製品ハ悉ク本店大阪ニ送付ス

人造絹糸——本品ハ大正十年本市千田町ニ工場ヲ設ケ製造ヲ初メ漸次隆盛ニ向ヒ一ケ年産額五、五〇二、〇〇〇圓ニシテ本市生産品中最モ多額ヲ占メ本品モ亦本店神戸ニ送付セリ

護謨製品——本品ハ大正五年本市南竹屋町ニ中國ゴム株式會社工場ヲ設置シタルヲ始メトシ爾來益々隆盛ニ向ヒ一ケ年ノ産額一、三五〇、〇〇〇圓ニシテ販路ハ朝鮮、臺灣、四國、九州、島根等ナリ

製綿——本市及本市附近ハ古來棉作地トシテ有名ナリ隨テ製綿ヲ業トセル者續出シ文政年間廣瀬町奥久兵衛及猿猴橋町坪田鶴藏ノ祖先本業ヲ開始セリト云フ尙本業ニ就テ沿革ノ概略ヲ記シテ參考ニ資セン
本業ニ關スル歴史ヲ探ルニ元和年間淺野公入城以來綿ヲ以テ國産タラシメント欲シ寛延年間民設綿改所ヲ藩ノ保護ニ歸シ之ヲ本市銀山町ニ置キ綿會所ト稱シ(綿座改所又ハ綿改座トモ云ヘリ)藝備兩國ノ産綿ヲ審査精撰シ販賣上大ニ便利ヲ與ヘ其後同所ニ於テ繰綿業ヲ創メ細民ノ婦女子ニ投産ノ道ヲ與ヘ大ニ公益ニ資セリ斯クテ綿會所ノ審査ハ嚴正ナルガ故ニ品位ハ一層昂上シ賣買上ノ信用亦年毎ニ厚ク販路モ頓ニ開ケ移出隆盛トナリ安藝白封ノ名遠近ニ傳ハリ遂ニ有名ナル一物産トナレリ(審査濟ニ繰綿ハ白紙ヲ以テ封ヲ爲ス依テ白封ノ名起ル)尙同會所ハ單ニ綿ノ審査ノミニ止ラズ農商間ニ金融ノ道ヲ開カント欲シ綿預券ヲ發行シ荷主ハ現品ヲ會所ニ預ケ預券ヲ以テ賣買スルノ便ヲ得爾來金錢ノ貸借ハ此預券ニ依ルモノ頗ル多ク大ニ

金融ノ流通ヲ助ケタリ明治五年廢藩置縣ニ際シ一旦閉鎖セントスルノ悲運ニ逢着センモ當業者間ニ於テ感ズル所アリテカ之ヲ民有ニ移シ爾後益々事業ヲ擴張シタリ然ルニ明治三十六年八月ニ至リ當時ノ米綿取引所ヲ株式組織ニ變更ト同時ニ株式會社廣島米取引所ト改稱シ爾來綿ノ取引ヲ廢スルニ至レリ茲ニ於テ其ノ取引機關ハ中絶セリト雖民間ニ於テ直接取引セル數ハ實ニ夥シ今ヤ關西ニ於テ其ノ名ヲ博メ産額ノ如キモ約二、四八五、八六〇圓ニテ販路ハ四國、山口縣下等ナリ尙之ガ精撰ニ付テハ古ヨリ明治十八九年頃マデハ打綿ハ專ラ弓打ナリシガ同二十年頃ヨリ箱機械ニ變更シ同三十八年頃ヨリ更ニ梳綿機ヲ應用スルニ至レリ

洋紙——本市ニ於ケル洋紙ノ製造ハ大正六年吉島町ニ中國製紙株式會社ヲ設置シテ製造ニ着手シ漸次隆盛ニ向ヒツ、アリ現今ニ於テハ一ケ年ノ産額七二二、一七〇圓其販路ハ東京、大阪及縣下トス

菓子——本市ニ於ケル菓子製造ハ塚本町(家號ニ文字屋)大田源右衛門ノ祖先ニ文字屋源右衛門ナルモノ元和五年(今ヨリ約三百年前)舊藩主淺野公紀ヨリ入城ノ際隨從シ來リ横町ニ居住シ專ラ御用菓子ヲ製造センヲ嚆矢トス爾來塚本町ニ菊屋庄右衛門京橋町ニ平芳屋庄助堀川町ニ虎屋傳三郎ナルモノ製造ヲ開始セシ由ナルモ今ハ虎屋ヲ除クノ外ハ其跡ヲ見ズ斯クテ維新前迄ハ本市ニ於ケル製造家ハ僅カニ十五六戸ナリシモ需要者ノ増加ニ連レ漸次同業者ノ數ヲ増シ現今ハ三百戸ニ及ビ盛ニ營業ヲナシ前途頗ル有望ナリ而シテ維新前頃迄ハ燒物類ノ製造盛ニシテ之ニ次グモノハ砂糖物、蒸物、羊羹ノ類ナリシガ維新後ニ至リ更ニ乾菓子、押物(落雁)、生菓子、麵麩、洋菓子類花霞及落花生菓子等ノ製造ヲ見ルニ至レリ

燐寸——本市ニ於ケル燐寸製造業ノ鼻祖トモ稱スベキハ本市細工町高坂萬兵衛ナリトス同氏ハ明治初年頃ヨリ西洋品輸入ノ數漸次増加スルヲ憂ヒ燐寸ノ如キハ必須ノ日用品ナレバ輸入防止ト一面一大營利事業ナラント着眼シ之ガ製造ヲ企圖シ種々研究ヲナシ稍其ノ製法ノ緒ヲ得テ三名ノ同志ト組合組織ニテ本市船入村ニ快燐社ト稱スル工場ヲ設置開業セリ之レ實ニ

明治十三年ニシテ本市ニ於ケル燐寸製造業ノ嚆矢トス然シテ幾多ノ困難ニ遭遇シタル共佐伯郡吉和村ニ燐寸軸木製造所ヲ設ケ明治三十九年二月ニハ一箇人ニシテ本市段原村ニ樂全堂ト稱スル工場ヲ設ケ燐寸製造業ヲ再興シ專ラ硫黃燐寸ノ製造ニ從事シ主トシテ印度地方ニ輸出ヲ計リ歐洲産ニ比肩スルノ名聲ヲ得タリ同氏ニ亞ギ三川町ニ合資廣島油明會社觀音村ニ廣島觀榮合資會社起リタリシガ遂ニ合資廣島油明會社ヲ山陽燐寸株式會社ト變更シテ現ニ三川町ニ營業シツ、アリーケ年ノ産額一、二九、〇二四圓餘ニシテ專ラ神戸ニ移出セリ

清 酒——本市ニ於ケル酒造家ハ往昔三原屋、海老屋、室屋等代々藩ノ御用ヲ勤メ居リシモ今ハ其ノ迹ヲ絶テリ而シテ現在ノ酒造家中其ノ創業ノ古キハ京橋町平野屋事松井亮吉ニシテ之ガ祖先ノ創業ハ寛永十一年同町細屋事保田八十吉ハ元祿十年ノ創業ナリト之ニ依リテ考フルニ本業創始時代ハ少クトモ今ヲ去ルコト三百年前ニアリシコトヲ證スルニ足ルバク此ノ間ノ盛衰消長ヲ知ラントスルハ頗ル困難ナリト雖明治維新前迄ハ凶年ニ遭遇シ米價暴騰セシ場合ハ藩主ハ所謂御藏米ヲ供給シ酒造家ヲ援助セラル、ト一方廣島城下ニハ他藩ハ素ヨリ郡部ヨリモ清酒ヲ移入ヲ嚴禁シ優等酒ニ對シテハ藩ノ御用ヲ命ゼラレ藩主自ラ酒銘ヲ授ケラル、等酒造ノ獎勵最モ盛ナリシト謂ヘリ斯クテ明治維新ニ於テ酒造家ノ數ヲ増シ且最モ盛ナリシ時ハ醸造戸數四十戸ヲ有シ當時ニアリテハ現今縣下ニ其名錫々タル賀茂郡地方ノ醸造酒ニ優リシコト數等ナリシト然ルニ明治維新後ニ至リテハ主トシテ兵庫縣灘酒ヲ好ムノ傾向アリシ爲メニ之ガ改良ニ意ヲ注ギ種々合議ノ上明治二十一年頃岩崎永助(現在ノ先代)保田芳太郎ノ兩人兵庫縣ニ赴キ灘地方ノ各酒造家ヲ歴訪シテ實地ヲ見聞シ其後灘ヨリ杜氏ヲ招聘シ容器器具等ニ至ルマデ杜氏ノ言ニ從ヒ新調シ當時中島本町岩崎永助ノ酒造場ヲ試驗場ニ充テ盛ニ試驗ヲナシタルモ風土水質等ノ異ナル廣島市ニ於テ灘釀造法ヲ其ノ儘採テ應用シタル拙考ハ何等得ル所ナカリキ然レドモ一回二回ノ失敗ハ反テ成功ノ素因トナリ其後改良ニ考案ヲ重ネ長足ノ進歩ヲナスニ至レリ

一方賀茂郡ノ如キハ本市ニ於ケル試驗ノ失敗ニ鑑ミル所アリテ是亦其後種々ノ考案ヲナシ改良ノ實ヲ擧ゲ杜氏ノ産出地トシテ縣下ニ雄飛スルニ至レリ翻テ我廣島市ニ於テハ今ヤ賀茂郡地方其他ト相俟テ年々相繼ク品評會共進會等ニ於テ賞牌褒狀等ヲ授與セラレ殊ニ明治四十二年ノ全國酒類品評會ニ於テハ全國中第一位ノ優等成績ヲ擧ゲ其ノ名聲ハ灘酒ヲ壓セントスルノ盛況ヲ呈シテ明治三十一年廣島酒造組合ノ設立ヲ見ルヤ一層其ノ面目ヲ革メ將來益々有望ノ地位ニアリーケ年ノ産額五六二、〇二〇圓餘ニシテ東京及縣下ニ移出ス

洋 服——本市ニ於ケル本業ノ元祖ハ明治五年ノ創業ヲ有スル本市大手町二丁目津村良平ニシテ明治五年前ハ專ラ和服仕立ヲナシ居リシモ時勢ノ變遷ニ連レ洋服裁縫ヲ思ヒ立チ京阪地方ヨリ洋服ヲ購入シ之ヲ手本トシテ種々研究ノ結果同年十數着ヲ試製セシモ其拙劣ナルコト今ヨリ考フレバ殆ンド兒戲ニ類スルノ感アリ同年本市ニ廣島鎮臺ノ設置セラル、ニ際シ軍隊被服裁縫場ノ設置ト共ニ職工長ニ採用セラレ苦心研鑽シ大ニ得ル所アリシト次デ本業ヲ開始セシハ横町吉本榮ナリトス明治十年頃迄ハ本業者ハ僅ニ四戸ニ過ギザリシモ同二十七八年日清戰役當時ヨリ需用俄ニ増加シ京阪人ニシテ熟達セル職工ヲ引連レ來廣開店スル者續出シ本市ニ於ケル本業ノ面目ヲ革メタリ

抑々洋服ハ明治二十七八年戰役前マデハ着用者ハ軍人、官吏、學校生徒ノミニ限ラレタル感アリシモ逐年着用者増加ニ伴ヒテ同業者モ亦増加シ殊ニ日露戰役當時ヨリ一層劇増シ現今ハ百四十五戸ノ多キニ及ビーケ年ノ生産一、九四四、〇〇〇圓ヲ示シ山口、福岡縣下ニ移出セリ

里 程 表

自 廣 島 市 市					自 廣 島 市 市				
自 至	哩 數	一等	二等	三等	自 至	哩 數	一等	二等	三等
廣 島	—	—	—	—	廣 島	—	—	—	—
西 條	19.8	1.50	1.00	.50	宮 島	13.5	1.05	.70	.35
糸 崎	46.3	3.54	2.36	1.18	大 竹	22.4	1.74	1.16	.58
尾 道	51.9	3.90	2.60	1.30	岩 國	25.7	1.95	1.30	.65
福 山	64.4	4.71	3.14	1.57	柳 井 津	46.2	3.54	2.36	1.18
笠 岡	73.5	5.28	3.52	1.76	下 松	63.5	4.65	3.10	1.55
岡 山	100.7	6.96	4.64	2.32	德 山	68.4	4.95	3.30	1.65
姫 路	155.7	9.78	6.52	3.26	三 田 尻	84.9	5.97	3.98	1.99
神 戶	190.1	11.55	7.70	3.85	小 郡	96.0	6.66	4.44	2.22
大 阪	210.1	12.48	8.32	4.16	山 口	103.9	7.29	4.84	2.42
京 都	236.9	13.56	9.04	4.52	宇 部	111.7	7.53	5.02	2.51
彦 根	275.2	15.21	10.14	5.07	厚 狹	117.7	7.83	5.22	2.61
關ヶ原	292.6	15.93	10.62	5.31	小 月	126.8	8.28	5.52	2.76
岐 阜	309.9	16.56	11.04	5.52	長 府	130.7	8.49	5.66	2.83
名 古 屋	328.7	17.25	11.50	5.75	下 關	139.5	8.94	5.96	2.98
靜 岡	444.1	21.30	14.20	7.10					
横 須 賀	544.5	24.45	16.30	8.15					
横 濱	545.1	24.48	16.32	8.16					
東 京	563.3	25.02	16.68	8.34					

備考 本表賃金ノ外=急行料金(急行=乗車ノモノ)ヲ要ス (別表)

急 行 料 金

等 級	三百五十哩未滿	五百哩未滿	五百哩以上
一 等	2.00	3.00	3.75
二 等	1.30	2.00	2.50
三 等	.65	1.00	1.25



b10
10

昭和四年四月十二日印刷

昭和四年四月十七日發行

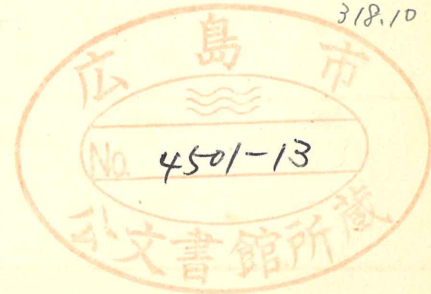
廣 島 市 役 所

廣島市鹽屋町十二番地

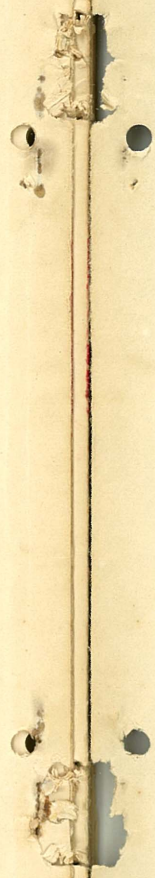
印刷者 增 田 直 吉

廣島市鹽屋町十二番地

印刷所 增田兄弟活版所



Kb10
H 10



孤 野 山 石 歌

孤野山石歌
青 野 山 石 歌

孤野山石歌
孤野山石歌

孤野山石歌

